

---

# 松山圏域の生活環境等に関するアンケート

---

## 報告書

令和8年3月

# 目次

<b>第1編 調査の概要</b> .....	1
1. 調査目的 .....	1
2. 調査対象及び抽出方法、抽出数、回収数 .....	1
3. 調査票の配布・回収方法及び調査期間 .....	1
4. 報告書の見方 .....	1
<b>第2編 調査結果</b> .....	2
1. 回答者の属性 .....	2
2. 住んだことがある地域 .....	5
3. 日常生活について .....	7
4. 「松山圏域」について .....	20
<b>第3編 まとめと考察</b> .....	33
1. 回答者の属性 .....	33
2. 住んだことがある地域 .....	33
3. 日常生活について .....	33
4. 「松山圏域」について .....	34

# 第1編 調査の概要

## 1. 調査目的

松山圏域連携協議会（松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町）では、「第3期まつやま圏域未来創生ビジョン」の策定にあたり、松山圏域にお住まいの方々の日常生活の行動範囲や圏域のイメージ等を把握し、これらを反映したビジョンの策定を行うため、アンケートを実施しました。

## 2. 調査対象及び抽出方法、抽出数、回収数

松山圏域内にお住まいの18歳から79歳までの方2,000人を無作為に抽出

	配布数	回収数（うちWEB）	回収率
松山市	500	210（87）	42.0%
伊予市	300	99（23）	33.0%
東温市	300	128（48）	42.7%
久万高原町	300	111（36）	37.0%
松前町	300	118（46）	39.3%
砥部町	300	116（40）	38.7%
無回答		3（2）	
計	2,000	785（282）	39.3%

※一般に、信頼度95%という条件下で、標本誤差が±5.0%以内であれば、その調査結果は信頼できるとされています。今回の調査では標本誤差が±3.4%に収まっており、十分に信頼性の高い水準を満たしています。

## 3. 調査票の配布・回収方法及び調査期間

- 調査票の配布・回収方法：郵送による配布・郵送又はWebを通じての回収
- 調査実施時期：令和7年7月24日（木）～令和7年8月6日（水）

## 4. 報告書の見方

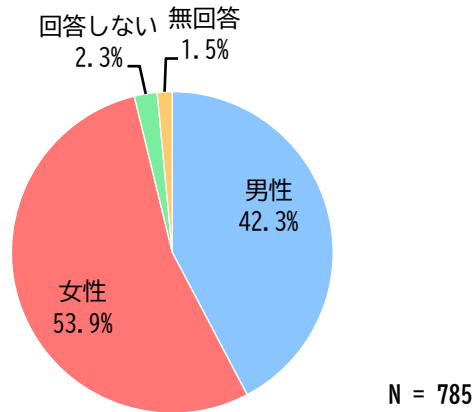
- 比率は、各設問の有効回答数（N）を母数とした百分率（%）で表し、小数点第2位以下を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が100.0%にならないことがあります。
- 基数となる実数はNとして掲載し、各グラフの比率はNを母数とした割合を示しています。
- 報告書中の「複数回答」、「自由回答」は以下の略称です。  
複数回答形式：選択肢の中から複数を選択  
自由回答形式：文字や数値を回答欄に記述  
これらのかっこ書きがない場合には単一回答形式（選択肢から1つ選択）にあたります。
- クロス集計の結果では、最も高い割合のもの（無回答を除く。）を      で網かけ・赤字、複数回答では、次に多くあげられているものを      で網掛けしています。
- 性別や年代別、居住地区別の集計の場合、無回答を排除しているため、その有効回答数の合計と全体の有効回答数が合致しないことがあります。

## 第2編 調査結果

### 1. 回答者の属性

問1 あなたの性別は。(選択は任意です)

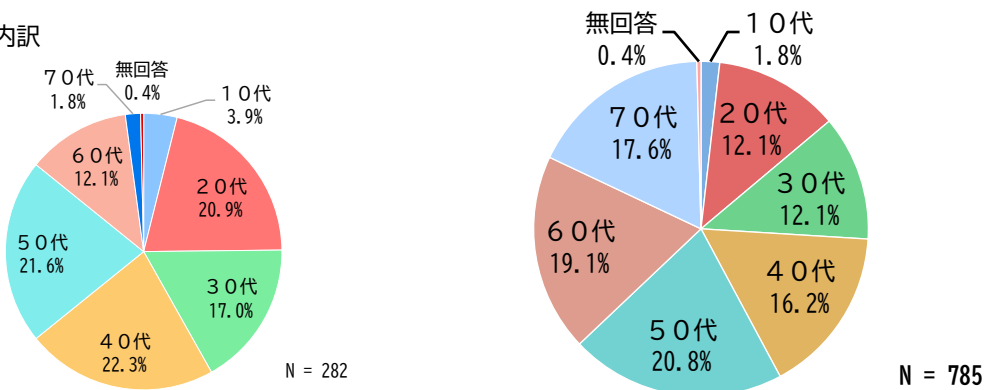
- 「女性」が53.9%、「男性」が42.3%と、「女性」がやや多くなっています。



問2 あなたの年齢をお答えください。(〇は1つ)

- 全体の回答者は、「50代」が最多で20.8%、次いで「60代」が19.1%、「70代」が17.6%となっています。WEB回答者は、回答全体の割合と比較すると、10~50代で多く利用されたことがわかります。

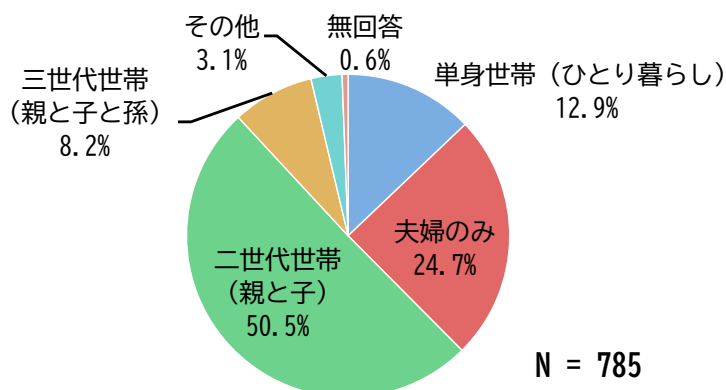
WEB回答者の内訳



問3 あなたの家族構成をお答えください。(○は1つ)

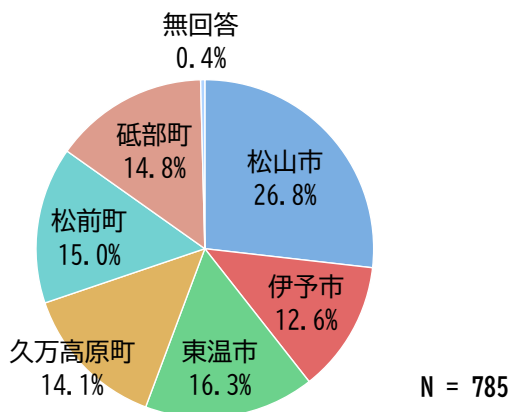
あてはまるものがない場合は、最も近いものを選択してください。

- 「二世世代世帯（親と子）」が最多で 50.5%、次いで「夫婦のみ」が 24.7%、「単身世帯（ひとり暮らし）」が 12.9%となっています。



問4 「現在（令和7年7月1日時点）」あなたがお住まいの市町をお答えください。(○は1つ)

- 「松山市」が最多で26.8%、次いで「東温市」が16.3%、「松前町」が15.0%となっています。松山市が最も多く、他5市町はほぼ同じ割合です。(※各市町の回収率は3～4割程度\*)



\*各市町の配布数に対する割合 (P.1 参照)

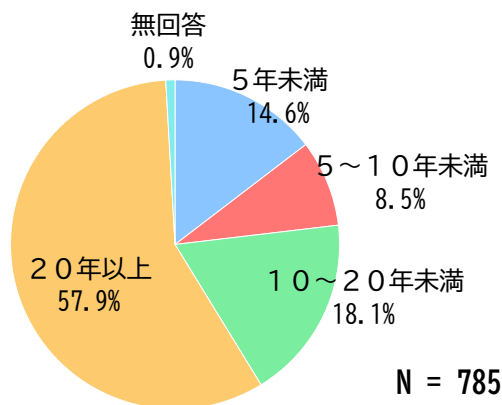
(参考) 各市町の圏域全体の人口に占める人口の割合

	人口	圏域人口に占める割合
松山市	511,192	80.2%
伊予市	35,133	5.5%
東温市	33,903	5.3%
久万高原町	7,404	1.2%
松前町	29,630	4.6%
砥部町	20,480	3.2%
圏域全体	637,742	100.0%

※人口の統計データの出典は令和2年国勢調査

問5 現在お住まいの市町の居住年数をお答えください。(○は1つ)

- 「20年以上」が最多で57.9%、次いで、「10～20年」が18.1%、「5年未満」が14.6%となっています。回答者の5割以上が、現在の居住地に20年以上居住しています。



【クロス集計（居住地別）】

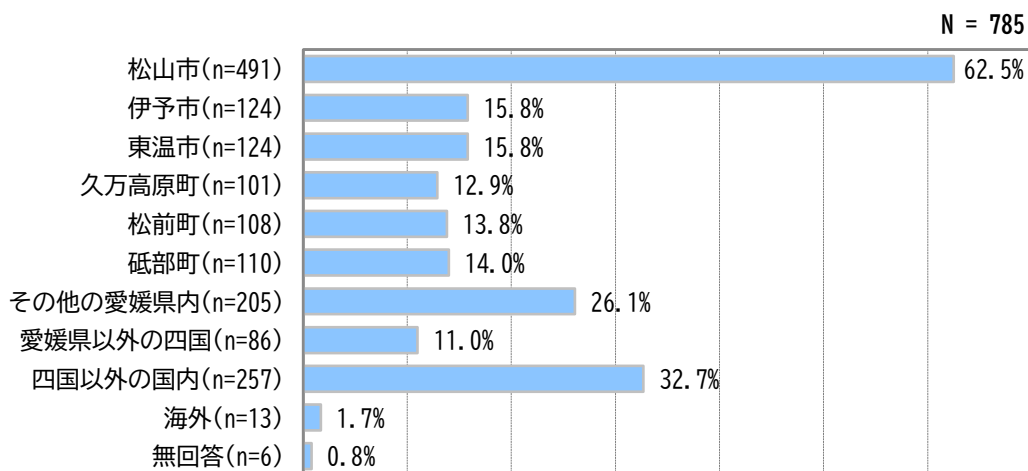
- 居住地別にみると、すべての地域で「20年以上」が最多となっています。特に久万高原町では7割以上、伊予市では6割以上が「20年以上」と回答しています。

SA	上段:度数 下段:%	居住地						合計
		松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町	
居住年数	5年未満	43 20.5	13 13.1	27 21.1	6 5.4	15 12.7	11 9.5	115 14.7
	5～10年未満	17 8.1	5 5.1	15 11.7	10 9.0	10 8.5	10 8.6	67 8.6
	10～20年未満	41 19.5	16 16.2	16 12.5	13 11.7	26 22.0	29 25.0	141 18.0
	20年以上	108 51.4	65 65.7	68 53.1	80 72.1	67 56.8	66 56.9	454 58.1
	無回答	1 0.5	-	2 1.6	2 1.8	-	-	5 0.6
	全体	210 100.0	99 100.0	128 100.0	111 100.0	118 100.0	116 100.0	782 100.0

## 2. 住んだことがある地域

問6 現在お住まいの地域を含めて、「これまでにあなたが住んだことがある」地域をお答えください。(当てはまるものすべてに○)

- これまで住んだことがある地域は、「松山市」が 62.5%と最も多く、6割以上を占めています。次いで、「四国以外の国内」が 32.7%、「その他の愛媛県内」が 26.1%と続き、圏域外の県内や県外（四国以外）に住んだことがある人（転入者）が多くみられます。松山市以外の圏域市町では、「伊予市」や「東温市」（ともに 15.8%）の割合が高いものの、他5市町で大きな差はみられません。



### 【クロス集計（年齢別）】

- 年齢別にみると、10代を除くすべての年代で「松山市」が最多、10代は「松前町」が最多となっています。次いで、2番目、3番目は、10代が「松山市」、「久万高原町」、20代が「四国以外の国内」、「伊予市」、30～70代が「その他の愛媛県内」、「四国以外の国内」となっています。
- また、40～50代は、圏域外に住んだことがある人が8割以上みられ（重複あり）、圏域外からも転入してきている人が多いと推測されます。

MA	上段:度数 下段:%	年齢							合計
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	
住んだことがある地域	松山市	3 21.4	45 47.4	65 68.4	91 71.7	115 70.6	95 63.3	77 55.8	491 62.8
	伊予市	2 14.3	19 20.0	12 12.6	23 18.1	22 13.5	28 18.7	18 13.0	124 15.9
	東温市	2 14.3	12 12.6	19 20.0	20 15.7	28 17.2	18 12.0	24 17.4	123 15.7
	久万高原町	3 21.4	11 11.6	11 11.6	13 10.2	20 12.3	21 14.0	22 15.9	101 12.9
	松前町	5 35.7	14 14.7	16 16.8	14 11.0	29 17.8	23 15.3	7 5.1	108 13.8
	砥部町	2 14.3	13 13.7	12 12.6	23 18.1	22 13.5	19 12.7	19 13.8	110 14.1
	その他の愛媛県内	2 14.3	14 14.7	24 25.3	34 26.8	53 32.5	48 32.0	30 21.7	205 26.2
	愛媛県以外の四国	2 14.3	7 7.4	11 11.6	20 15.7	18 11.0	17 11.3	11 8.0	86 11.0
	四国以外の国内	2 14.3	28 29.5	33 34.7	48 37.8	67 41.1	37 24.7	42 30.4	257 32.9
	海外	-	-	3 3.2	-	6 3.7	1 0.7	3 2.2	13 1.7
	無回答	1 7.1	-	1 1.1	-	-	-	2 1.4	6 0.8
	全体	14 100.0	95 100.0	95 100.0	127 100.0	163 100.0	150 100.0	138 100.0	782 100.0
	松山圏域外（計）	6 42.9	49 51.6	71 74.7	102 80.3	144 88.3	103 68.7	86 62.3	561 71.7

※「松山圏域外（計）」は、「その他の愛媛県内」、「愛媛県以外の四国」、「四国以外の国内」、「海外」の合計

※2番目、3番目をグレーで網かけ

【クロス集計（居住地別）】

- 居住地別にみると、それぞれの地域で、現在の居住地を挙げる人が最も多く、7～8割前後となっています。中でも、松山市はその割合が最も高く、87.1%となっています。また、3番目までに挙げられた地域を比較すると、松山市は、「四国以外の国内」と「その他の愛媛県内」、それ以外の地域は「松山市」と「四国以外の国内」が挙げられています。
- 松山市と東温市は、圏域外に住んだことがある人が9割以上みられ、圏域外から転入してきた人も多いことが推測されます。

MA	上段:度数 下段:%	居住地						合計
		松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町	
住んだことがある地域	松山市	183 87.1	44 44.4	65 50.8	60 54.1	68 57.6	70 60.3	490 62.7
	伊予市	8 3.8	82 82.8	4 3.1	3 2.7	19 16.1	8 6.9	124 15.9
	東温市	8 3.8	3 3.0	98 76.6	3 2.7	4 3.4	8 6.9	124 15.9
	久万高原町	9 4.3	3 3.0	4 3.1	76 68.5	1 0.8	7 6.0	100 12.8
	松前町	8 3.8	4 4.0	2 1.6	1 0.9	87 73.7	6 5.2	108 13.8
	砥部町	6 2.9	2 2.0	4 3.1	8 7.2	4 3.4	86 74.1	110 14.1
	その他の愛媛県内	75 35.7	24 24.2	35 27.3	15 13.5	30 25.4	26 22.4	205 26.2
	愛媛県以外の四国	26 12.4	9 9.1	24 18.8	7 6.3	9 7.6	11 9.5	86 11.0
	四国以外の国内	86 41.0	25 25.3	54 42.2	30 27.0	30 25.4	31 26.7	256 32.7
	海外	5 2.4	1 1.0	5 3.9	1 0.9	1 0.8	-	13 1.7
	無回答	1 0.5	-	-	1 0.9	1 0.8	1 0.9	4 0.5
	全体	210 100.0	99 100.0	128 100.0	111 100.0	118 100.0	116 100.0	782 100.0
	松山圏域外（計）	192 91.4	59 59.6	118 92.2	53 47.7	70 59.3	68 58.6	560 71.6

※「松山圏域外（計）」は、「その他の愛媛県内」、「愛媛県以外の四国」、「四国以外の国内」、「海外」の合計

※2番目、3番目をグレーで網かけ

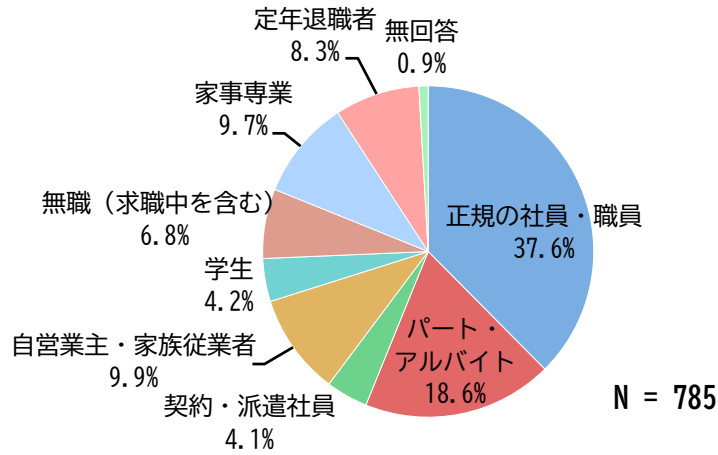
### 3. 日常生活について

#### ①職業

問7 あなたの職業をお答えください。(〇は1つ)

あてはまるものがない場合は、最も近いものを選択してください。

- 職業は、「正規の社員・職員」が最多で 37.6%、次いで、「パート・アルバイト」が 18.6%、「自営業主・家族従業者」が 9.9%となっています。

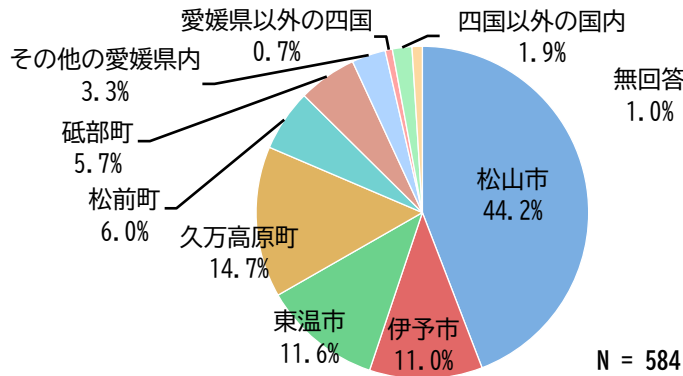


②通勤・通学

問8 問7で「1」～「5」のいずれかと回答された方におたずねします。

「現在（令和7年7月1日時点）」あなたの職場や学校がある地域をお答えください。（○は1つ）

- 通勤・通学先は、「松山市」が最多で44.2%、次いで、「久万高原町」が14.7%、「東温市」が11.6%となっています。一方で、「松前町」（6.0%）、砥部町（5.7%）は他の市町より低くなっています。



【クロス集計（居住地別）】

- 居住地別にみると、松山市、伊予市、東温市、久万高原町では、住んでいる市町への通勤・通学が最多であり、特に松山市と久万高原町はその割合が高く、8割を超えています。一方、松前町、砥部町は、松山市への通勤・通学が最多で、住んでいる市町は2番目となっています。
- 伊予市、東温市は、松山市への通勤・通学も約2～3割と高くなっている一方で、久万高原町は、松山市への通勤・通学は2.2%と割合は高くありません。

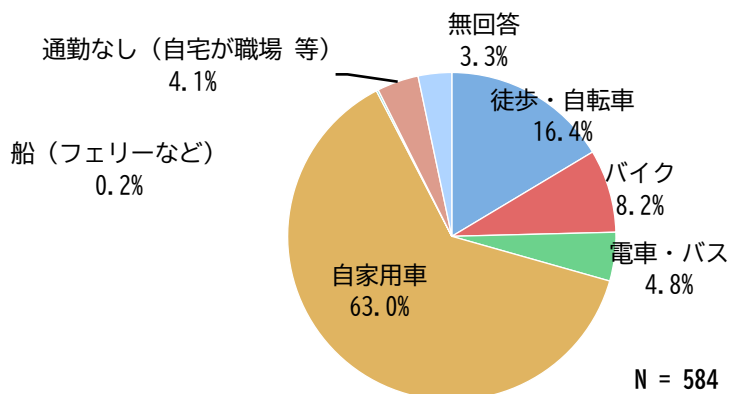
SA	上段:度数 下段:%	居住地						合計
		松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町	
通勤・通学先	松山市	130 83.3	17 22.1	28 30.4	2 2.2	42 50.6	38 45.8	257 44.1
	伊予市	3 1.9	42 54.5	2 2.2	2 2.2	12 14.5	3 3.6	64 11.0
	東温市	9 5.8	1 1.3	50 54.3	1 1.1	-	7 8.4	68 11.7
	久万高原町	1 0.6	-	1 1.1	82 89.1	-	2 2.4	86 14.8
	松前町	1 0.6	5 6.5	1 1.1	-	25 30.1	3 3.6	35 6.0
	砥部町	1 0.6	2 2.6	3 3.3	1 1.1	1 1.2	25 30.1	33 5.7
	その他の愛媛県内	3 1.9	5 6.5	6 6.5	-	2 2.4	3 3.6	19 3.3
	愛媛県以外の四国	2 1.3	1 1.3	-	-	1 1.2	-	4 0.7
	四国以外の国内	4 2.6	4 5.2	1 1.1	2 2.2	-	-	11 1.9
	無回答	2 1.3	-	-	2 2.2	-	2 2.4	6 1.0
	全体	156 100.0	77 100.0	92 100.0	92 100.0	83 100.0	83 100.0	583 100.0

※20%を超える項目をグレーの網かけ

問9 問7で「1」～「5」のいずれかと回答された方におたずねします。

あなたが通勤・通学する際に利用している主な交通手段をお答えください。(○は1つ)

- 通勤・通学に利用する主な交通手段は、「自家用車」が最多で 63.0%、次いで、「徒歩・自転車」が 16.4%、「バイク」が 8.2%となっています。
- 「電車・バス」の公共交通機関は 4.8%となっており、他の交通手段よりも、通勤・通学での利用割合が低くなっています。



【クロス集計 (居住地別)】

- 居住地別にみると、すべての市町で「自家用車」が最も多くなっていますが、松山市では「徒歩・自転車」が 24.4%、「バイク」もあわせると 34.6%となり、自宅から近い距離での通勤・通学者も多いと推測されます。

SA	上段:度数 下段:%	居住地						合計
		松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町	
通勤・通学手段	徒歩・自転車	38 24.4	12 15.6	15 16.3	13 14.1	9 10.8	8 9.6	95 16.3
	バイク	16 10.3	4 5.2	8 8.7	4 4.3	11 13.3	5 6.0	48 8.2
	電車・バス	9 5.8	4 5.2	6 6.5	2 2.2	4 4.8	3 3.6	28 4.8
	自家用車	81 51.9	50 64.9	56 60.9	63 68.5	54 65.1	64 77.1	368 63.1
	船 (フェリーなど)	-	1 1.3	-	-	-	-	1 0.2
	通勤なし (自宅が職場 等)	6 3.8	5 6.5	4 4.3	8 8.7	1 1.2	-	24 4.1
	無回答	6 3.8	1 1.3	3 3.3	2 2.2	4 4.8	3 3.6	19 3.3
	全体	156 100.0	77 100.0	92 100.0	92 100.0	83 100.0	83 100.0	583 100.0
	徒歩・自転車+バイク	54 34.6	16 20.8	23 25.0	17 18.5	20 24.1	13 15.7	143 24.5

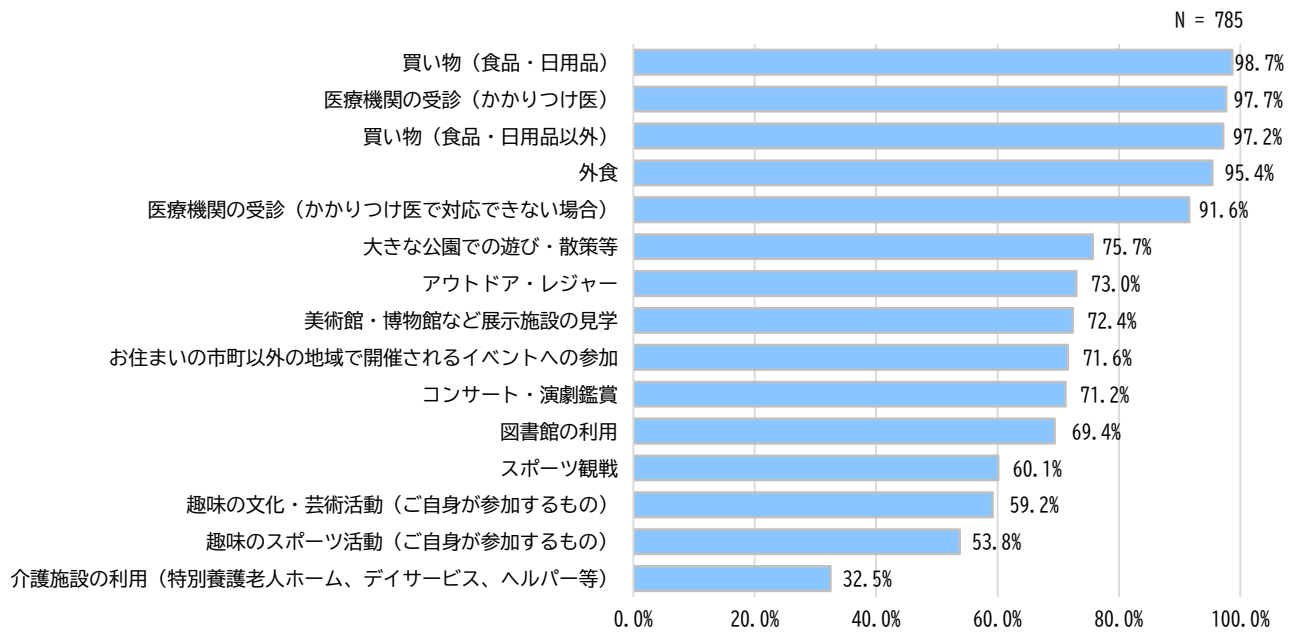
※「徒歩・自転車+バイク」は、「徒歩・自転車」と「バイク」の合計

### ③活動

問10 日常生活における以下の活動について、その活動のために比較的好く行く地域を3つまでお答えください。(項目ごとにあてはまるものに3つまで○)

#### 【活動率】

- 日常生活における15の活動それぞれについて、無回答を除いた回答数の有効回答数(785件)に対する割合を「活動率」としてみると、買い物や外食、医療機関の受診は9割を超えている一方で、趣味の文化・芸術活動やスポーツ活動、スポーツ観戦は5～6割前後、介護施設の利用は約3割となっています。



※無回答を除いた回答数 (n) の有効回答数 (785) に対する割合  
 ※降順に並び替え

#### 【活動ごとの活動場所】

- 日常生活の中での活動を比較的好く行っている地域としては、無回答を除いて、すべての活動で松山市が最も多く挙げられています。特に依存度が高い活動は、「外食」、「医療機関の受診 (かかりつけ医で対応できない場合)」、「美術館・博物館など展示施設の見学」などで9割前後の依存率となっています。
- 一方、買い物や外食では松前町、大きな公園での遊び・散策等、医療機関の受診、介護施設の利用では東温市、アウトドア・レジャーではその他の愛媛県内、コンサート・演劇鑑賞では愛媛県外の割合も比較的高くなっています。

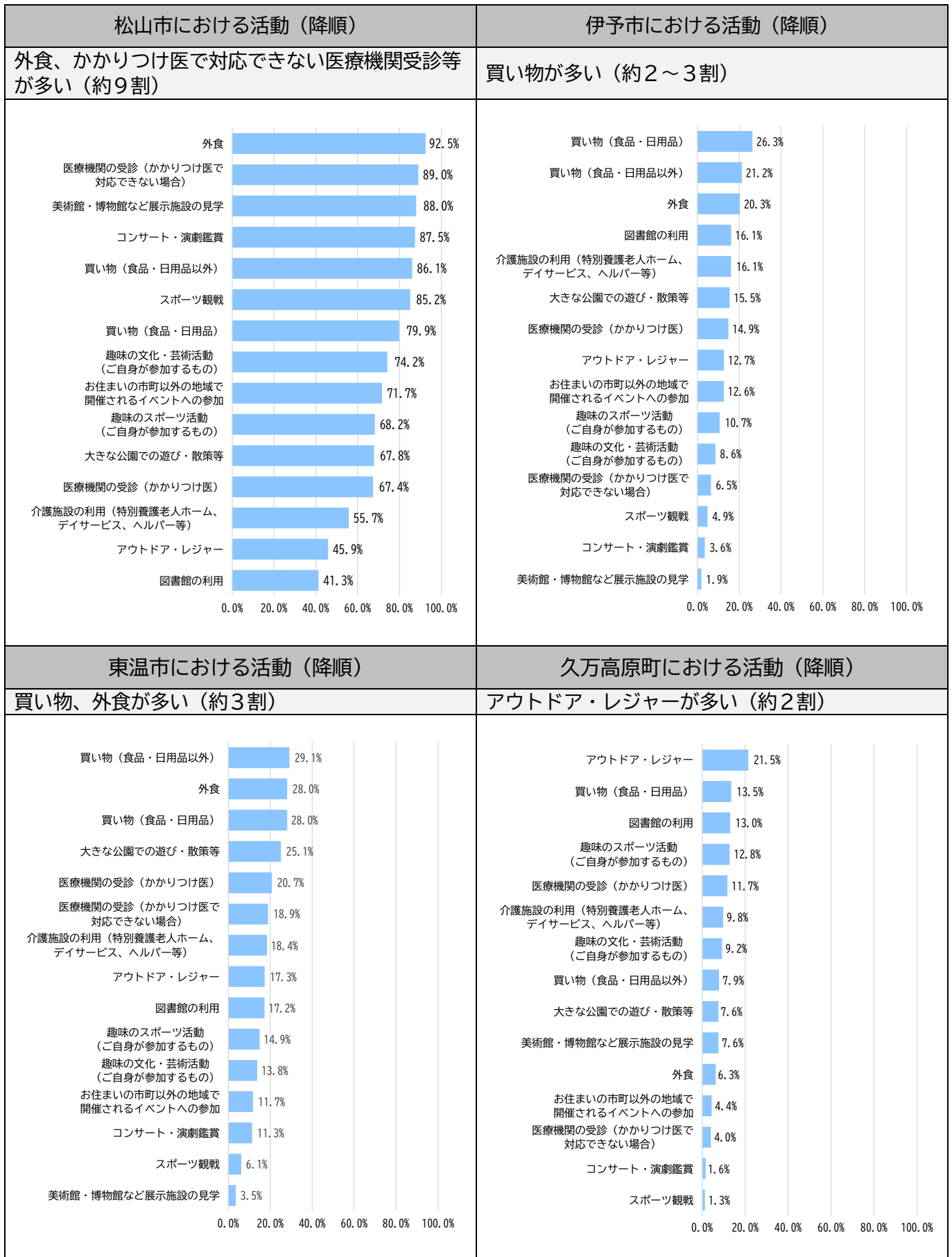
	買い物 (食品・日用品)	買い物(食 品・日用品以 外)	外食	医療機関の受 診(かかりつ け医)	医療機関の受 診(かかりつ け医で対応で きない場合)	介護施設の利用 (特別養護老人 ホーム、デイサ ービス、ヘルパ ー等)	図書館の利用
回答数(n) (無回答を除く)	775	763	749	767	719	255	545
活動率 (有効回答数に 対する割合)	98.7%	97.2%	95.4%	97.7%	91.6%	32.5%	69.4%
活動地域(以下、無回答を除いた回答数(n)に対する割合)							
松山市	79.9%	86.1%	92.5%	67.4%	89.0%	55.7%	41.3%
伊予市	26.3%	21.2%	20.3%	14.9%	6.5%	16.1%	16.1%
東温市	28.0%	29.1%	28.0%	20.7%	18.9%	18.4%	17.2%
久万高原町	13.5%	7.9%	6.3%	11.7%	4.0%	9.8%	13.0%
松前町	37.7%	52.7%	38.9%	13.4%	6.8%	14.5%	17.4%
砥部町	23.9%	14.5%	15.5%	14.2%	2.6%	10.2%	16.0%
その他愛媛県内	5.8%	6.4%	9.7%	1.8%	2.2%	4.3%	1.7%
愛媛県外	2.1%	5.4%	4.5%	1.2%	1.5%	0.4%	2.4%

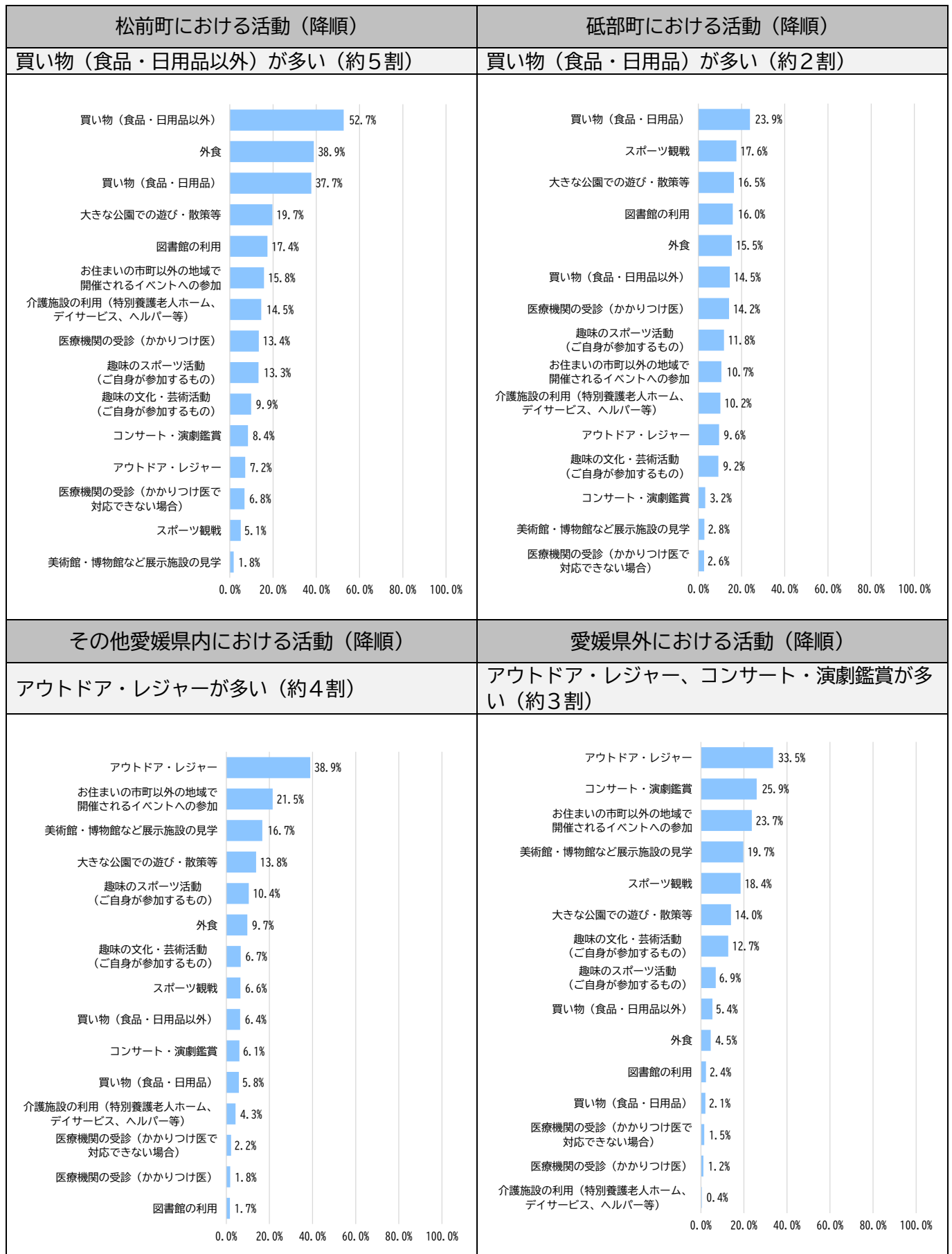
※それぞれの活動について、最も多い地域はグレーの網かけ+太字、2番目に多い地域はグレーの網かけ

	美術館・ 博物館など 展示施設の 見学	コンサート ・演劇鑑賞	趣味の文化 ・芸術活動 (ご自身が 参加するも の)	スポーツ 観戦	趣味のスポ ーツ活動 (ご自身が 参加するも の)	大きな公園 での遊び・ 散策等	お住まいの市 町以外の地域 で開催される イベントへの 参加	アウトドア ・レジャー
回答数(n) (無回答を除く)	568	559	465	472	422	594	562	573
活動率 (有効回答数に 対する割合)	72.4%	71.2%	59.2%	60.1%	53.8%	75.7%	71.6%	73.0%
活動地域(以下、無回答を除いた回答数(n)に対する割合)								
松山市	88.0%	87.5%	74.2%	85.2%	68.2%	67.8%	71.7%	45.9%
伊予市	1.9%	3.6%	8.6%	4.9%	10.7%	15.5%	12.6%	12.7%
東温市	3.5%	11.3%	13.8%	6.1%	14.9%	25.1%	11.7%	17.3%
久万高原町	7.6%	1.6%	9.2%	1.3%	12.8%	7.6%	4.4%	21.5%
松前町	1.8%	8.4%	9.9%	5.1%	13.3%	19.7%	15.8%	7.2%
砥部町	2.8%	3.2%	9.2%	17.6%	11.8%	16.5%	10.7%	9.6%
その他愛媛県内	16.7%	6.1%	6.7%	6.6%	10.4%	13.8%	21.5%	38.9%
愛媛県外	19.7%	25.9%	12.7%	18.4%	6.9%	14.0%	23.7%	33.5%

※それぞれの活動について、最も多い地域はグレーの網かけ+太字、2番目に多い地域はグレーの網かけ

【各地域における各活動の活動率】





※降順に並び替え

※それぞれの活動場所別に、それぞれの活動で活動場所として挙げられた割合を降順に並べている

※上位の項目ほど、その活動の活動場所として選ばれており、その数値が高いほど集客力があるといえる

【各地域で最も多く利用されている項目の居住地別集計】

- 各地域で最も多く利用されている項目について、どの地域からどのくらいの人を集めているか、を居住地別にみると、「外食」は、いずれの市町も8割以上が松山市に依存していることがわかります。
- また、住んでいる市町以外からの集客では、買い物は伊予市が松前町から6割、砥部町が久万高原町から4割、日用品以外は東温市が砥部町から4割、松前町が伊予市から7割、砥部町、松山市、久万高原町から4～5割を集めています。また、アウトドア・レジャーは、久万高原町が砥部町から約3割、圏域外の愛媛県内が伊予市から5割、東温市、松山市、松前町から4割前後、県外が松山市、松前町から4割前後を集客しています。

利用地域	最も多く挙げられた活動	居住地ごとの依存度					
		松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町
松山市	外食	100.0% (n=205)	79.8% (n=75)	92.2% (n=118)	89.9% (n=89)	91.2% (n=103)	93.6% (n=102)
伊予市	買い物（食品・日用品）	10.5% (n=22)	95.9% (n=93)	6.3% (n=8)	3.7% (n=4)	61.5% (n=72)	4.3% (n=5)
東温市	買い物（食品・日用品以外）	14.1% (n=29)	3.2% (n=3)	81.1% (n=103)	29.5% (n=31)	6.0% (n=7)	43.0% (n=49)
久万高原町	アウトドア・レジャー	14.4% (n=23)	12.7% (n=8)	14.0% (n=14)	56.5% (n=39)	16.1% (n=15)	27.6% (n=24)
松前町	買い物（食品・日用品以外）	42.9% (n=88)	70.2% (n=66)	32.3% (n=41)	41.0% (n=43)	89.7% (n=105)	51.8% (n=59)
砥部町	買い物（食品・日用品）	4.3% (n=9)	7.2% (n=7)	6.3% (n=8)	44.0% (n=48)	3.4% (n=4)	94.8% (n=109)
その他愛媛県内	アウトドア・レジャー	39.4% (n=63)	52.4% (n=33)	40.0% (n=40)	33.3% (n=23)	37.6% (n=35)	32.2% (n=28)
愛媛県外	アウトドア・レジャー	41.3% (n=66)	28.6% (n=18)	26.0% (n=26)	29.0% (n=20)	39.8% (n=37)	28.7% (n=25)

※表中のnの値は、無回答を除いた回答数を示しています。

※太字は当該居住地で1番目に、網掛けは当該居住地で3番目までに多いもの（グレーの網掛けは自市町内）。

【(参考) 各地域で最も多く利用されている項目の通勤・通学先別集計】

- 通勤・通学先別では、サンプル数が少ないため単純比較はできませんが、居住地別と似たような傾向を示しています。居住地別と異なる点は、松前町での日用品以外の買い物が伊予市への通勤・通学者から2番目に多く挙げられていること（居住地別では1番目）、圏域外の愛媛県内及び県外へのアウトドア・レジャーが松前町への通勤・通学者から最も多く挙げられていること（居住地別ではそれぞれ3番目、2番目）などです。

利用地域	最も多く挙げられた活動	通勤・通学先ごとの依存度						
		松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町	圏域外(計)
松山市	外食	97.3% (n=249)	86.9% (n=53)	94.2% (n=65)	90.0% (n=72)	85.7% (n=30)	86.7% (n=26)	93.9% (n=31)
伊予市	買い物（食品・日用品）	23.1% (n=60)	79.7% (n=51)	7.2% (n=5)	3.6% (n=3)	54.3% (n=19)	15.2% (n=5)	27.3% (n=9)
東温市	買い物（食品・日用品以外）	20.5% (n=53)	4.8% (n=3)	71.0% (n=49)	31.0% (n=26)	14.3% (n=5)	37.5% (n=12)	21.2% (n=7)
久万高原町	アウトドア・レジャー	17.1% (n=37)	17.4% (n=8)	9.3% (n=5)	61.3% (n=38)	3.6% (n=1)	8.3% (n=2)	11.5% (n=3)
松前町	買い物（食品・日用品以外）	55.6% (n=144)	69.4% (n=43)	42.0% (n=29)	48.8% (n=41)	82.9% (n=29)	50.0% (n=16)	48.5% (n=16)
砥部町	買い物（食品・日用品）	16.5% (n=43)	14.1% (n=9)	14.5% (n=10)	40.5% (n=34)	14.3% (n=5)	78.8% (n=26)	18.2% (n=6)
その他愛媛県内	アウトドア・レジャー	37.3% (n=81)	47.8% (n=22)	35.2% (n=19)	33.9% (n=21)	46.4% (n=13)	45.8% (n=11)	34.6% (n=9)
愛媛県外	アウトドア・レジャー	37.2% (n=83)	28.3% (n=13)	29.6% (n=16)	29.0% (n=18)	46.4% (n=13)	20.8% (n=5)	53.8% (n=14)

※表中のnの値は、無回答を除いた回答数を示しています。

※太字は当該居住地で1番目に、網掛けは当該居住地で3番目までに多いもの（グレーの網掛けは自市町内）。

#### 【クロス集計（居住地別）】

- 居住地別にみると、無回答を除いて、すべての市町で住んでいる地域を最も多く利用している活動は、「買い物（食品・日用品）」、「医療機関の受診（かかりつけ医）」、「介護施設の利用（特別養護老人ホーム、デイサービス、ヘルパー等）」、「図書館の利用」となっています。
- すべての市町で松山市を最も多く利用している活動は、「外食」、「医療機関の受診（かかりつけ医で対応できない場合）」、「美術館・博物館など展示施設の見学」、「コンサート・演劇鑑賞」、「スポーツ観戦」、「お住まいの市町以外の地域で開催されるイベントへの参加」となっています。
- 「買い物（食品・日用品以外）」の活動では、松山市、東温市、久万高原町、砥部町に住んでいる人は松山市を最も多く利用していますが、伊予市に住んでいる人は松山市のみならず伊予市及び松前町を、松前町に住んでいる人は松前町を多く利用しています。
- また、「アウトドア・レジャー」の活動では、松山市、東温市、久万高原町に住んでいる人は居住地を、松前町、久万高原町に住んでいる人は松山市を最も多く利用している一方で、伊予市に住んでいる人は圏域外の愛媛県内を最も多く利用しています。

#### 【クロス集計（通勤・通学先別）】

- 通勤・通学先別は、圏域外を除きすべての地域で、通勤・通学している地域を最も多く利用している活動は、「図書館の利用」のみとなっています。
- すべての地域で松山市を最も多く利用している活動は、「外食」、「医療機関の受診（かかりつけ医で対応できない場合）」、「美術館・博物館など展示施設の見学」、「コンサート・演劇鑑賞」、「スポーツ観戦」、「お住まいの市町以外の地域で開催されるイベントへの参加」となっています。
- 「アウトドア・レジャー」の活動では、松山市、東温市、久万高原町に通勤・通学している人は通勤・通学先を、伊予市は圏域外の愛媛県内を、松前町は圏域外の愛媛県内及び愛媛県外を、砥部町は松山市を最も多く利用しています。

【居住地別・各項目で最も多く利用されている地域】

活動	居住地					
	松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町
買い物（食品・日用品）	松山市 100.0% (n=209)	伊予市 95.9% (n=93)	東温市 96.1% (n=122)	久万高原町 91.7% (n=100)	松前町 94.0% (n=110)	砥部町 94.8% (n=109)
買い物（食品・日用品以外）	松山市 99.0% (n=203)	松山市・伊予市・松前町 70.2% (n=66)	松山市 85.0% (n=108)	松山市 83.8% (n=88)	松前町 89.7% (n=105)	松山市 81.6% (n=93)
外食	松山市 100.0% (n=205)	松山市 79.8% (n=75)	松山市 92.2% (n=118)	松山市 89.9% (n=89)	松山市 91.2% (n=103)	松山市 93.6% (n=102)
医療機関の受診（かかりつけ医）	松山市 98.0% (n=201)	伊予市 84.5% (n=82)	東温市 89.0% (n=113)	久万高原町 83.8% (n=88)	松前町 71.2% (n=84)	砥部町 76.3% (n=87)
医療機関の受診（かかりつけ医で対応できない場合）	松山市 94.8% (n=181)	松山市 86.8% (n=79)	松山市 72.9% (n=86)	松山市 83.3% (n=85)	松山市 96.4% (n=107)	松山市 96.2% (n=101)
介護施設の利用（特別養護老人ホーム、デイサービス、ヘルパー等）	松山市 96.6% (n=85)	伊予市 97.5% (n=21)	東温市 84.8% (n=39)	久万高原町 85.7% (n=24)	松前町 72.1% (n=31)	砥部町 76.0% (n=19)
図書館の利用	松山市 96.0% (n=144)	伊予市 93.9% (n=62)	東温市 94.5% (n=86)	久万高原町 95.8% (n=68)	松前町 87.6% (n=78)	砥部町 93.5% (n=72)
美術館・博物館など展示施設の見学	松山市 91.1% (n=154)	松山市 84.1% (n=53)	松山市 89.6% (n=86)	松山市 73.5% (n=50)	松山市 90.4% (n=85)	松山市 92.2% (n=71)
コンサート・演劇鑑賞	松山市 88.5% (n=146)	松山市 86.9% (n=53)	松山市 82.5% (n=80)	松山市 85.5% (n=59)	松山市 89.2% (n=83)	松山市 93.2% (n=68)
趣味の文化・芸術活動（ご自身が参加するもの）	松山市 94.6% (n=141)	松山市 57.5% (n=23)	松山市 64.3% (n=54)	久万高原町 64.3% (n=36)	松山市 76.9% (n=60)	松山市 64.9% (n=37)
スポーツ観戦	松山市 86.2% (n=131)	松山市 83.3% (n=40)	松山市 81.0% (n=64)	松山市 77.4% (n=41)	松山市 94.5% (n=69)	松山市 84.8% (n=56)
趣味のスポーツ活動（ご自身が参加するもの）	松山市 95.6% (n=129)	伊予市 73.2% (n=30)	東温市 64.3% (n=45)	久万高原町 69.4% (n=34)	松山市 66.7% (n=50)	砥部町 64.7% (n=33)
大きな公園での遊び・散策等	松山市 92.1% (n=164)	伊予市 74.2% (n=46)	東温市 82.4% (n=84)	松山市 59.7% (n=40)	松前町 66.7% (n=66)	砥部町 63.5% (n=54)
お住まいの市町以外の地域で開催されるイベントへの参加	松山市 44.6% (n=66)	松山市 75.4% (n=49)	松山市 83.5% (n=81)	松山市 83.8% (n=62)	松山市 78.4% (n=76)	松山市 86.3% (n=69)
アウトドア・レジャー	松山市 56.9% (n=91)	その他愛媛県内 52.4% (n=33)	東温市 51.0% (n=51)	久万高原町 56.5% (n=39)	松山市 51.6% (n=48)	松山市 48.3% (n=42)

※下線をつけた活動は、すべての地域で住んでいる地域が最も多い活動です。

※グレーの網かけは、当該居住地以外の地域で、太字は松山市以外の地域を示しています。

※表中のnの値は、無回答を除いた回答数を示しています。

【通勤・通学先別・各項目で最も多く利用されている地域】

活動	通勤・通学先						
	松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町	圏域外(計)
買い物(食品・日用品)	松山市 92.3% (n=240)	伊予市 79.7% (n=51)	東温市 82.6% (n=57)	久万高原町 89.3% (n=75)	松山市 74.3% (n=26)	砥部町 78.8% (n=26)	松山市 78.8% (n=26)
買い物(食品・日用品以外)	松山市 93.4% (n=242)	松山市 77.4% (n=48)	松山市 82.6% (n=57)	松山市 85.7% (n=72)	松前町 82.9% (n=29)	松山市 84.4% (n=27)	松山市 84.8% (n=28)
外食	松山市 97.3% (n=249)	松山市 86.9% (n=53)	松山市 94.2% (n=65)	松山市 90.0% (n=72)	松山市 85.7% (n=30)	松山市 86.7% (n=26)	松山市 93.9% (n=31)
医療機関の受診(かかりつけ医)	松山市 83.7% (n=216)	伊予市 65.1% (n=41)	東温市 74.6% (n=50)	久万高原町 82.5% (n=66)	松山市・松前町 60.0% (n=21)	松山市・砥部町 66.7% (n=22)	松山市 51.5% (n=17)
医療機関の受診(かかりつけ医で対応できない場合)	松山市 93.0% (n=227)	松山市 95.1% (n=58)	松山市 76.2% (n=48)	松山市 87.3% (n=69)	松山市 94.1% (n=32)	松山市 96.6% (n=28)	松山市 75.0% (n=24)
介護施設の利用(特別養護老人ホーム、デイサービス、ヘルパー等)	松山市 72.0% (n=77)	伊予市 72.7% (n=16)	東温市 63.6% (n=14)	久万高原町 82.6% (n=19)	松山市 66.7% (n=6)	松山市 66.7% (n=2)	松山市 36.4% (n=4)
図書館の利用	松山市 67.5% (n=131)	伊予市 66.7% (n=30)	東温市 75.0% (n=36)	久万高原町 93.3% (n=56)	松前町 62.1% (n=18)	砥部町 78.9% (n=15)	松山市 33.3% (n=8)
美術館・博物館など展示施設の見学	松山市 93.9% (n=200)	松山市 84.1% (n=37)	松山市 89.6% (n=43)	松山市 71.4% (n=40)	松山市 90.0% (n=27)	松山市 90.0% (n=18)	松山市 70.8% (n=17)
コンサート・演劇鑑賞	松山市 88.5% (n=184)	松山市 88.6% (n=39)	松山市 84.3% (n=43)	松山市 87.0% (n=47)	松山市 85.7% (n=24)	松山市 89.5% (n=17)	松山市 78.3% (n=18)
趣味の文化・芸術活動(ご自身が参加するもの)	松山市 86.6% (n=155)	松山市 59.4% (n=19)	松山市 75.0% (n=30)	久万高原町 65.9% (n=29)	松山市 75.0% (n=18)	松山市・砥部町 58.3% (n=7)	松山市 72.7% (n=16)
スポーツ観戦	松山市 88.8% (n=158)	松山市 84.2% (n=32)	松山市 76.7% (n=33)	松山市 83.7% (n=36)	松山市 90.5% (n=19)	松山市 75.0% (n=15)	松山市 75.0% (n=18)
趣味のスポーツ活動(ご自身が参加するもの)	松山市 83.1% (n=138)	伊予市 56.3% (n=18)	松山市 57.9% (n=22)	久万高原町 76.2% (n=32)	松山市 70.0% (n=14)	砥部町 60.0% (n=9)	松山市 61.9% (n=13)
大きな公園での遊び・散策等	松山市 77.6% (n=173)	伊予市 58.1% (n=25)	東温市 77.8% (n=42)	松山市 57.1% (n=32)	松前町 65.5% (n=19)	松山市 70.8% (n=17)	松山市 68.0% (n=17)
お住まいの市町以外の地域で開催されるイベントへの参加	松山市 63.5% (n=134)	松山市 72.9% (n=35)	松山市 79.6% (n=39)	松山市 85.0% (n=51)	松山市 79.3% (n=23)	松山市 81.0% (n=17)	松山市 64.0% (n=16)
アウトドア・レジャー	松山市 48.4% (n=105)	その他愛媛県内 47.8% (n=22)	東温市 46.3% (n=25)	久万高原町 61.3% (n=3)	その他愛媛県内・愛媛県外 46.4% (n=13)	松山市 50.0% (n=12)	愛媛県外 53.8% (n=14)

※下線をつけた活動は、松山圏域外を除くすべての地域で、通勤・通学している地域が最も多い活動です。

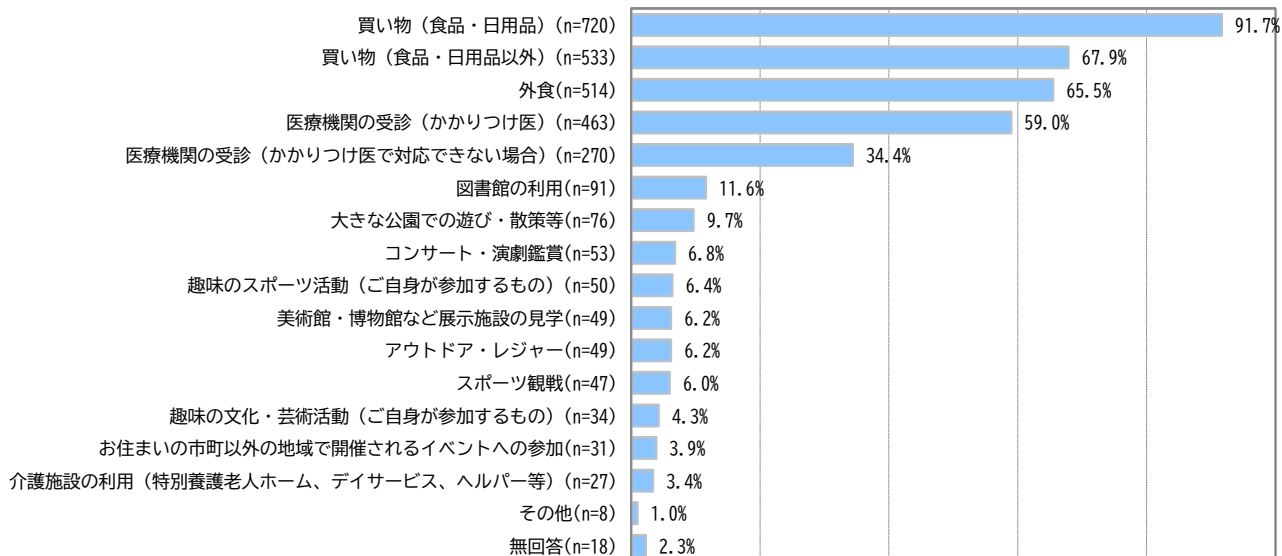
※グレーの網かけは、当該通勤・通学先以外の地域で、太字は松山市以外の地域を示しています。

※表中のnの値は、無回答を除いた回答数を示しています。

問11 「松山圏域」(松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町を含む地域全体)で、日常生活における以下の活動について、利便性が高いと感じる活動をお答えください。(〇は5つまで)

- 利便性が高い活動は、「買い物(食品・日用品)」が最多で91.7%、次いで、「買い物(食品・日用品以外)」が67.9%、「外食」が65.5%となっています。

N = 785



※降順に並び替え

### 【クロス集計(居住地別)】

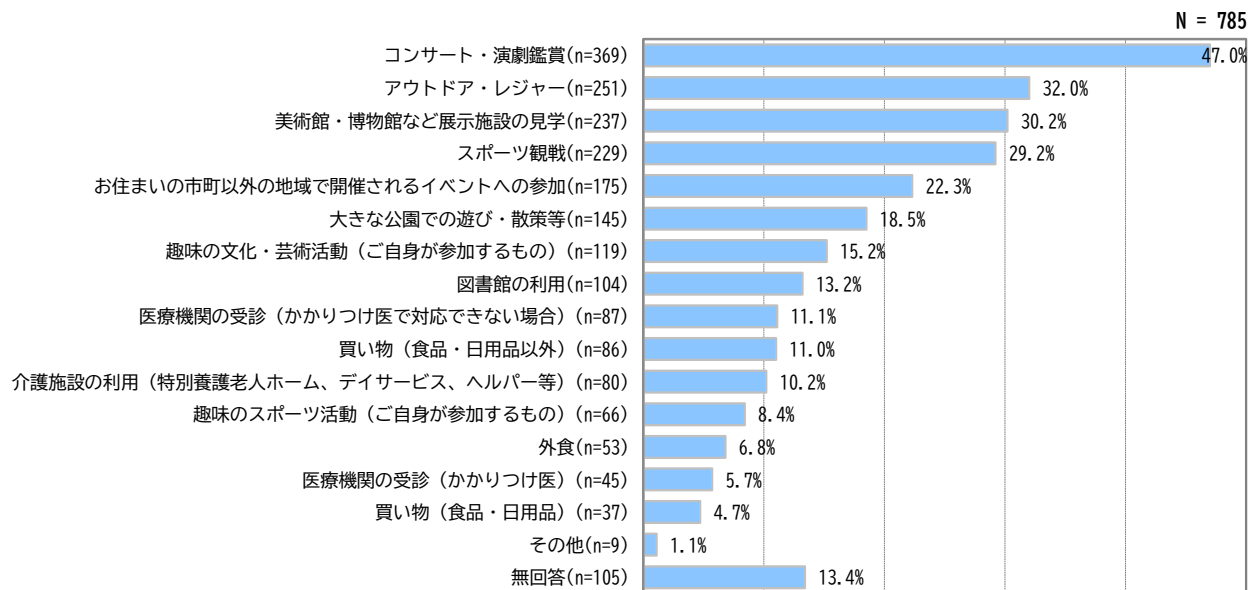
- 居住地別にみると、すべての市町で「買い物(食品・日用品)」が最多であり、久万高原町を除くすべての市町で「買い物(食品・日用品以外)」「外食」「医療機関の受診(かかりつけ医)」の回答が5割を超えています。一方で、久万高原町では、「医療機関の受診(かかりつけ医)」の回答が41.4%と他の市町と比較して低くなっています。

MA	上段:度数 下段:%	居住地						
		松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町	合計
利便性が高い活動	買い物(食品・日用品)	199 94.8	92 92.9	115 89.8	94 84.7	117 99.2	101 87.1	718 91.8
	買い物(食品・日用品以外)	137 65.2	72 72.7	86 67.2	78 70.3	83 70.3	76 65.5	532 68.0
	外食	156 74.3	65 65.7	70 54.7	68 61.3	84 71.2	69 59.5	512 65.5
	医療機関の受診(かかりつけ医)	146 69.5	51 51.5	87 68.0	46 41.4	66 55.9	65 56.0	461 59.0
	医療機関の受診(かかりつけ医で対応できない場合)	73 34.8	42 42.4	42 32.8	38 34.2	35 29.7	38 32.8	268 34.3
	介護施設の利用(特別養護老人ホーム、デイサービス、ヘルパー等)	7 3.3	4 4.0	5 3.9	7 6.3	4 3.4	-	27 3.5
	図書館の利用	22 10.5	12 12.1	10 7.8	10 9.0	17 14.4	20 17.2	91 11.6
	美術館・博物館など展示施設の見学	16 7.6	5 5.1	9 7.0	7 6.3	5 4.2	7 6.0	49 6.3
	コンサート・演劇鑑賞	14 6.7	4 4.0	8 6.3	8 7.2	8 6.8	11 9.5	53 6.8
	趣味の文化・芸術活動(ご自身が参加するもの)	14 6.7	2 2.0	6 4.7	5 4.5	2 1.7	5 4.3	34 4.3
	スポーツ観戦	14 6.7	6 6.1	9 7.0	5 4.5	6 5.1	7 6.0	47 6.0
	趣味のスポーツ活動(ご自身が参加するもの)	15 7.1	3 3.0	8 6.3	6 5.4	8 6.8	10 8.6	50 6.4
	大きな公園での遊び・散策等	24 11.4	7 7.1	18 14.1	2 1.8	10 8.5	15 12.9	76 9.7
	お住まいの市町以外の地域で開催されるイベントへの参加	6 2.9	5 5.1	6 4.7	6 5.4	4 3.4	4 3.4	31 4.0
	アウトドア・レジャー	11 5.2	4 4.0	13 10.2	9 8.1	6 5.1	6 5.2	49 6.3
	その他	-	-	2 1.6	3 2.7	-	3 2.6	8 1.0
	無回答	1 0.5	4 4.0	1 0.8	7 6.3	1 0.8	3 2.6	17 2.2
	全体	210 100.0	99 100.0	128 100.0	111 100.0	118 100.0	116 100.0	782 100.0

※50%を超える項目をグレーで網かけ

問12 「松山圏域」(松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町を含む地域全体)で、日常生活における以下の活動について、利便性が低いと感じる活動をお答えください。(〇は5つまで)

- 利便性が低い活動は、「コンサート・演劇鑑賞」が最多で47.0%、次いで、「アウトドア・レジャー」が32.0%、「美術館・博物館など展示施設の見学」が30.2%となっています。



※降順に並び替え

【クロス集計(居住地別)】

- 居住地別にみると、すべての市町で「コンサート・演劇鑑賞」が最多となっており、3番目までに挙げられた活動は、「美術館・博物館など展示施設の見学」「スポーツ観戦」「アウトドア・レジャー」が主となっています。久万高原町は他の市町と傾向が異なり、「お住まいの市町以外の地域で開催されるイベントへの参加」が3番目に挙げられています。

MA	上段:度数 下段:%	居住地						合計
		松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町	
利便性が低い活動	買い物(食品・日用品)	9 4.3	5 5.1	6 4.7	6 5.4	3 2.5	8 6.9	37 4.7
	買い物(食品・日用品以外)	27 12.9	12 12.1	12 9.4	13 11.7	11 9.3	11 9.5	86 11.0
	外食	7 3.3	5 5.1	14 10.9	8 7.2	3 2.5	16 13.8	53 6.8
	医療機関の受診(かかりつけ医)	7 3.3	7 7.1	5 3.9	14 12.6	2 1.7	10 8.6	45 5.8
	医療機関の受診(かかりつけ医で対応できない場合)	9 4.3	13 13.1	11 8.6	21 18.9	16 13.6	17 14.7	87 11.1
	介護施設の利用(特別養護老人ホーム、デイサービス、ヘルパー等)	14 6.7	10 10.1	12 9.4	11 9.9	17 14.4	16 13.8	80 10.2
	図書館の利用	38 18.1	9 9.1	15 11.7	13 11.7	16 13.6	13 11.2	104 13.3
	美術館・博物館など展示施設の見学	58 27.6	29 29.3	38 29.7	21 18.9	45 38.1	45 38.8	236 30.2
	コンサート・演劇鑑賞	107 51.0	35 35.4	56 43.8	50 45.0	55 46.6	65 56.0	368 47.1
	趣味の文化・芸術活動(ご自身が参加するもの)	26 12.4	18 18.2	22 17.2	15 13.5	19 16.1	18 15.5	118 15.1
	スポーツ観戦	76 36.2	24 24.2	34 26.6	38 34.2	34 28.8	23 19.8	229 29.3
	趣味のスポーツ活動(ご自身が参加するもの)	21 10.0	6 6.1	9 7.0	8 7.2	13 11.0	9 7.8	66 8.4
	大きな公園での遊び・散策等	45 21.4	12 12.1	17 13.3	23 20.7	25 21.2	23 19.8	145 18.5
	お住まいの市町以外の地域で開催されるイベントへの参加	42 20.0	23 23.2	20 15.6	29 26.1	29 24.6	31 26.7	174 22.3
	アウトドア・レジャー	79 37.6	30 30.3	33 25.8	19 17.1	44 37.3	44 37.9	249 31.8
	その他	2 1.0	1 1.0	4 3.1	1 0.9	-	-	9 1.2
	無回答	32 15.2	14 14.1	20 15.6	15 13.5	11 9.3	12 10.3	104 13.3
	全体	210 100.0	99 100.0	128 100.0	111 100.0	118 100.0	116 100.0	782 100.0

※2番目、3番目をグレーで網かけ

## 4. 「松山圏域」について

### ①自慢できる特徴

問13 「松山圏域」(松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町を含む地域全体)で、圏域外に自慢できるような特徴(名勝旧跡、施設、イベント・祭り、名物・特産品、自然・地勢・風土、偉人・有名人など)について、あなたが思いつくものを最大5つまでご記入ください。

- 圏域で自慢できる特徴は、「道後温泉」が最多で45.3%、次いで「松山城」が41.4%、「砥部焼」が19.8%となっており、「道後温泉」と「松山城」の2つが特に多く回答されています。

有効回答数：601件

回答数合計：2,091

#### 【松山圏域で自慢できる特徴ベスト5】

	内容	回答数	回答割合*1
1	道後温泉	272	45.3%
2	松山城	249	41.4%
3	砥部焼*2	119	19.8%
4	正岡子規*3	74	12.3%
5	愛媛県立とべ動物園	71	11.8%

\*1：回答数/有効回答数

\*2：「砥部焼まつり」の回答は含まず

\*3：「俳句」の回答は含まず

ベスト5の他に複数挙げられた特徴をまとめると、圏域で自慢できる特徴としては、以下の表のようなものが挙げられています。

	内容	該当する回答内容	回答数	
1	特産品が豊富 (計198件)	果物	柑橘類、ミカンなど	92
		野菜	トマト、ピーマンなど	16
		海産物	鯛、じゃこ天など	66
		その他	坊ちゃん団子、特産品など	24
2	自然が豊か (計180件)	自然	自然、自然が多い、自然の美しさなど	44
		海	海、きれいな海、瀬戸内海、瀬戸内海の景色など	30
		山	石鎚山、石鎚山系、山など	47
		その他	四国カルスト、久万高原など	59
3	各地の様々な祭り	松山まつり、伊予彩まつり、砥部焼まつり、松山秋まつりなど	101	
4	多くの偉人・有名人を輩出	夏目漱石、秋山兄弟、松山英樹など	69	
5	大型商業施設	エミフルMASAKIなど	57	

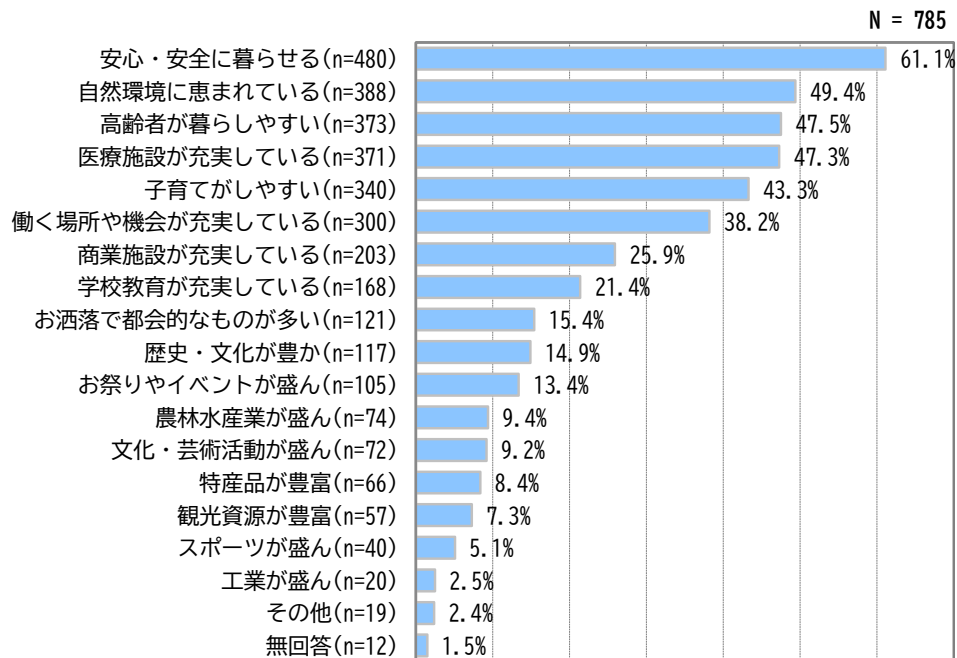
これらの結果から、次のような「松山圏域」の特徴が見えてきます。

- 道後温泉、松山城は「松山圏域」の2大シンボル
- 海や山など自然が豊か
- 砥部焼や果物、海産物など特産品が豊富
- 正岡子規や夏目漱石など、多くの偉人を輩出
- 愛媛県立とべ動物園、大型商業施設など、多様な拠点施設
- 各地で今も引き継がれる様々な祭り

## ②「松山圏域」に望む姿

問14 あなたは「松山圏域」（松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町を含む地域全体）が将来どのような地域になってほしいとお考えですか。あてはまるものをお答えください。（○は5つまで）

- 圏域に望む姿は、「安心・安全に暮らせる」が最多で61.1%、次いで、「自然環境に恵まれている」が49.4%、「高齢者が暮らしやすい」が47.5%となっています。



※降順に並び替え

【クロス集計（年齢別）】

- 年齢別にみると、10代は「自然環境に恵まれている」「お祭りやイベントが盛ん」が、20～50代は「安心・安全に暮らせる」が、60～70代は「高齢者が暮らしやすい」が最多となっています。
- 5番目までに挙げられた項目では、すべての年代で「自然環境に恵まれている」「安心・安全に暮らせる」が挙げられています。また、10～40代では「子育てがしやすい」が挙げられる一方で「高齢者が暮らしやすい」が挙げられていませんが、50～60代では相反する傾向が見られ、「高齢者が暮らしやすい」が挙げられる一方で「子育てがしやすい」が挙げられませんでした。
- そのほか、10～20代で「お洒落で都会的なものが多い」、30～60代で「働く場所や機会が充実している」などの割合が、他の年代と比べて高くなっています。

MA	上段:度数 下段:%	年齢							合計
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	
「松山圏域」に望む姿	自然環境に恵まれている	7 50.0	45 47.4	35 36.8	61 48.0	74 45.4	78 52.0	87 63.0	387 49.5
	お洒落で都会的なものが多い	6 42.9	32 33.7	20 21.1	26 20.5	22 13.5	7 4.7	7 5.1	120 15.3
	歴史・文化が豊か	3 21.4	13 13.7	10 10.5	21 16.5	27 16.6	29 19.3	14 10.1	117 15.0
	医療施設が充実している	2 14.3	30 31.6	37 38.9	52 40.9	89 54.6	83 55.3	78 56.5	371 47.4
	高齢者が暮らしやすい	-	16 16.8	16 16.8	40 31.5	87 53.4	106 70.7	107 77.5	372 47.6
	子育てがしやすい	5 35.7	48 50.5	58 61.1	62 48.8	67 41.1	55 36.7	44 31.9	339 43.4
	学校教育が充実している	4 28.6	22 23.2	28 29.5	32 25.2	29 17.8	32 21.3	21 15.2	168 21.5
	安心・安全に暮らせる	6 42.9	53 55.8	60 63.2	71 55.9	108 66.3	96 64.0	86 62.3	480 61.4
	商業施設が充実している	4 28.6	25 26.3	31 32.6	33 26.0	55 33.7	31 20.7	22 15.9	201 25.7
	工業が盛ん	-	1 1.1	6 6.3	5 3.9	4 2.5	3 2.0	1 0.7	20 2.6
	農林水産業が盛ん	1 7.1	6 6.3	3 3.2	9 7.1	21 12.9	21 14.0	13 9.4	74 9.5
	観光資源が豊富	1 7.1	7 7.4	3 3.2	10 7.9	17 10.4	9 6.0	10 7.2	57 7.3
	特産品が豊富	-	5 5.3	6 6.3	13 10.2	18 11.0	9 6.0	15 10.9	66 8.4
	お祭りやイベントが盛ん	7 50.0	26 27.4	19 20.0	17 13.4	12 7.4	11 7.3	12 8.7	104 13.3
	スポーツが盛ん	1 7.1	6 6.3	10 10.5	6 4.7	6 3.7	2 1.3	9 6.5	40 5.1
	文化・芸術活動が盛ん	2 14.3	10 10.5	7 7.4	13 10.2	13 8.0	14 9.3	12 8.7	71 9.1
	働く場所や機会が充実している	2 14.3	29 30.5	36 37.9	48 37.8	74 45.4	66 44.0	43 31.2	298 38.1
	その他	-	3 3.2	1 1.1	6 4.7	4 2.5	1 0.7	4 2.9	19 2.4
	無回答	-	6 6.3	2 2.1	-	-	1 0.7	2 1.4	11 1.4
	全体	14 100.0	95 100.0	95 100.0	127 100.0	163 100.0	150 100.0	138 100.0	782 100.0

※2～5番目をグレーで網かけ

【年齢別の「松山圏域」に望む姿 ベスト5】

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
10代	自然環境／お祭り (50.0%)		都会的／安心・安全 (42.9%)		子育て (35.7%)
20代	安心・安全 (55.8%)	子育て (50.5%)	自然環境 (47.4%)	都会的 (33.7%)	医療施設 (31.6%)
30代	安心・安全 (63.2%)	子育て (61.1%)	医療施設 (38.9%)	働く場所 (37.9%)	自然環境 (36.8%)
40代	安心・安全 (55.9%)	子育て (48.8%)	自然環境 (48.0%)	医療施設 (40.9%)	働く場所 (37.8%)
50代	安心・安全 (66.3%)	医療施設 (54.6%)	高齢者 (53.4%)	自然環境／働く場所 (45.4%)	
60代	高齢者 (70.7%)	安心・安全 (64.0%)	医療施設 (55.3%)	自然環境 (52.0%)	働く場所 (44.0%)
70代	高齢者 (77.5%)	自然環境 (63.0%)	安心・安全 (62.3%)	医療施設 (56.5%)	子育て (31.9%)

【クロス集計（居住地別）】

- 居住地別にみると、久万高原町を除くすべての市町で「安心・安全に暮らせる」が最多、久万高原町で「医療施設が充実している」が最多となっています。
- 5番目までに挙げられた項目は、すべての市町で、上記2項目に加え「自然環境に恵まれている」「高齢者が暮らしやすい」が挙げられており、そのほか、松山市、伊予市、東温市、松前町では「子育てがしやすい」が、久万高原町、砥部町では「働く場所や機会が充実している」が挙げられています。

MA	上段:度数 下段:%	居住地						
		松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町	合計
「松山圏域」に望む姿	自然環境に恵まれている	105 50.0	42 42.4	67 52.3	57 51.4	60 50.8	57 49.1	388 49.6
	お洒落で都会的なものが多い	40 19.0	15 15.2	17 13.3	9 8.1	25 21.2	14 12.1	120 15.3
	歴史・文化が豊か	46 21.9	15 15.2	17 13.3	9 8.1	16 13.6	14 12.1	117 15.0
	医療施設が充実している	92 43.8	50 50.5	58 45.3	63 56.8	60 50.8	48 41.4	371 47.4
	高齢者が暮らしやすい	97 46.2	50 50.5	56 43.8	61 55.0	53 44.9	55 47.4	372 47.6
	子育てがしやすい	96 45.7	43 43.4	57 44.5	49 44.1	52 44.1	43 37.1	340 43.5
	学校教育が充実している	50 23.8	21 21.2	28 21.9	26 23.4	23 19.5	20 17.2	168 21.5
	安心・安全に暮らせる	133 63.3	65 65.7	80 62.5	58 52.3	74 62.7	69 59.5	479 61.3
	商業施設が充実している	50 23.8	23 23.2	37 28.9	22 19.8	35 29.7	35 30.2	202 25.8
	工業が盛ん	5 2.4	4 4.0	4 3.1	3 2.7	2 1.7	2 1.7	20 2.6
	農林水産業が盛ん	8 3.8	13 13.1	9 7.0	25 22.5	7 5.9	12 10.3	74 9.5
	観光資源が豊富	20 9.5	1 1.0	13 10.2	4 3.6	10 8.5	9 7.8	57 7.3
	特産品が豊富	18 8.6	6 6.1	10 7.8	10 9.0	10 8.5	12 10.3	66 8.4
	お祭りやイベントが盛ん	27 12.9	22 22.2	21 16.4	9 8.1	10 8.5	15 12.9	104 13.3
	スポーツが盛ん	11 5.2	3 3.0	9 7.0	-	5 4.2	12 10.3	40 5.1
	文化・芸術活動が盛ん	26 12.4	4 4.0	14 10.9	7 6.3	10 8.5	10 8.6	71 9.1
	働く場所や機会が充実している	71 33.8	40 40.4	46 35.9	50 45.0	38 32.2	53 45.7	298 38.1
	その他	9 4.3	1 1.0	2 1.6	1 0.9	-	6 5.2	19 2.4
	無回答	5 2.4	3 3.0	1 0.8	1 0.9	1 0.8	-	11 1.4
	全体	210 100.0	99 100.0	128 100.0	111 100.0	118 100.0	116 100.0	782 100.0

※2～5番目をグレーで網かけ

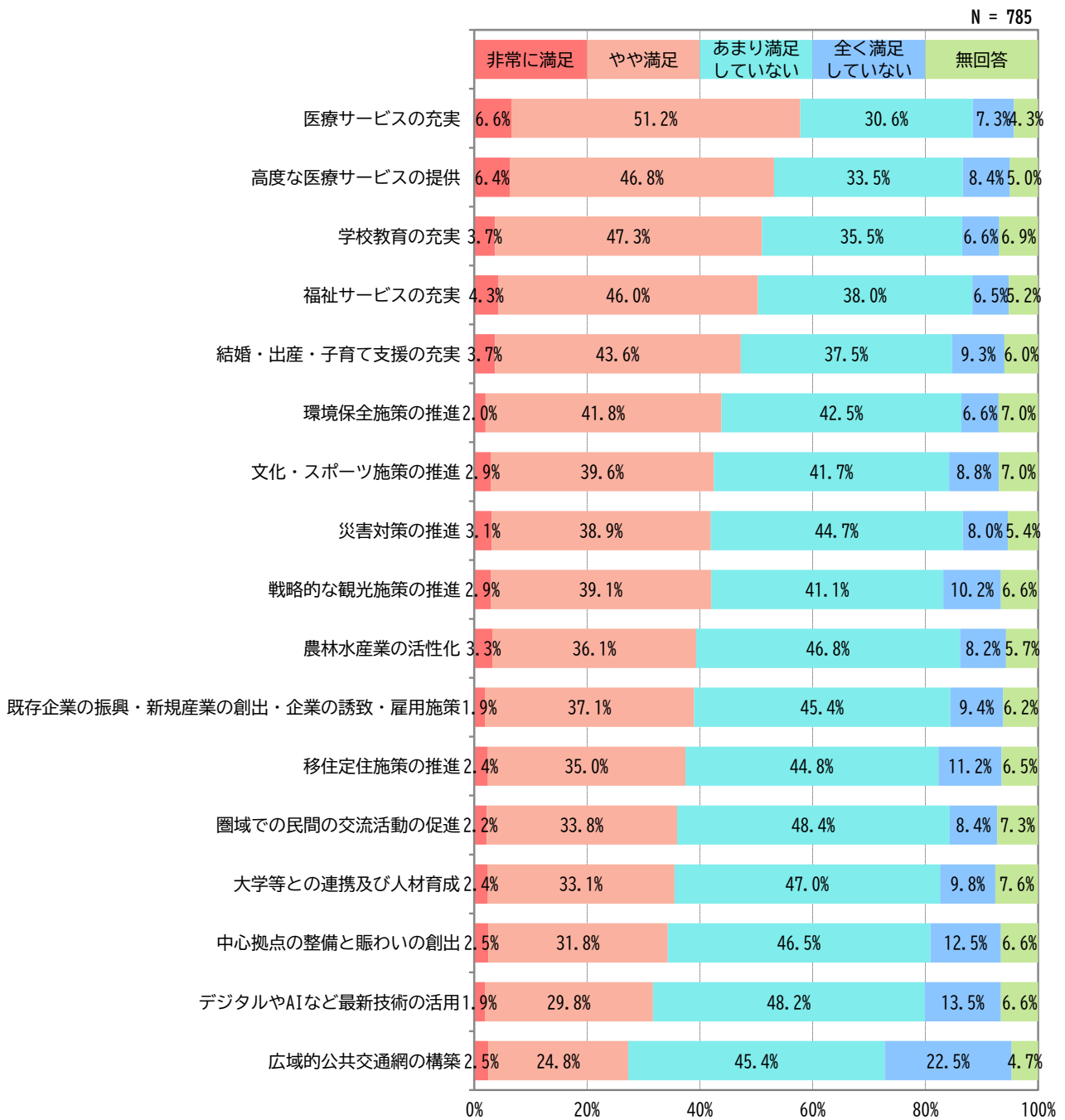
【居住地別の「松山圏域」に望む姿 バスト5】

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
松山市	安心・安全 (63.3%)	自然環境 (50.0%)	高齢者 (46.2%)	子育て (45.7%)	医療施設 (43.8%)
伊予市	安心・安全 (65.7%)	高齢者／医療施設 (50.5%)		子育て (43.4%)	自然環境 (42.4%)
東温市	安心・安全 (62.5%)	自然環境 (52.3%)	医療施設 (45.3%)	子育て (44.5%)	高齢者 (43.8%)
久万高原町	医療施設 (56.8%)	高齢者 (55.0%)	安心・安全 (52.3%)	自然環境 (51.4%)	働く場所 (45.0%)
松前町	安心・安全 (62.7%)	自然環境／医療施設 (50.8%)		高齢者 (44.9%)	子育て (44.1%)
砥部町	安心・安全 (59.5%)	自然環境 (49.1%)	高齢者 (47.4%)	働く場所 (45.7%)	医療施設 (41.4%)

### ③圏域内での取組

問15 現在、「松山圏域」（松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町を含む地域全体）で、行われている取組に対する満足度を教えてください。項目ごとにお答えください。（項目ごとにあてはまるものに1つずつ〇）

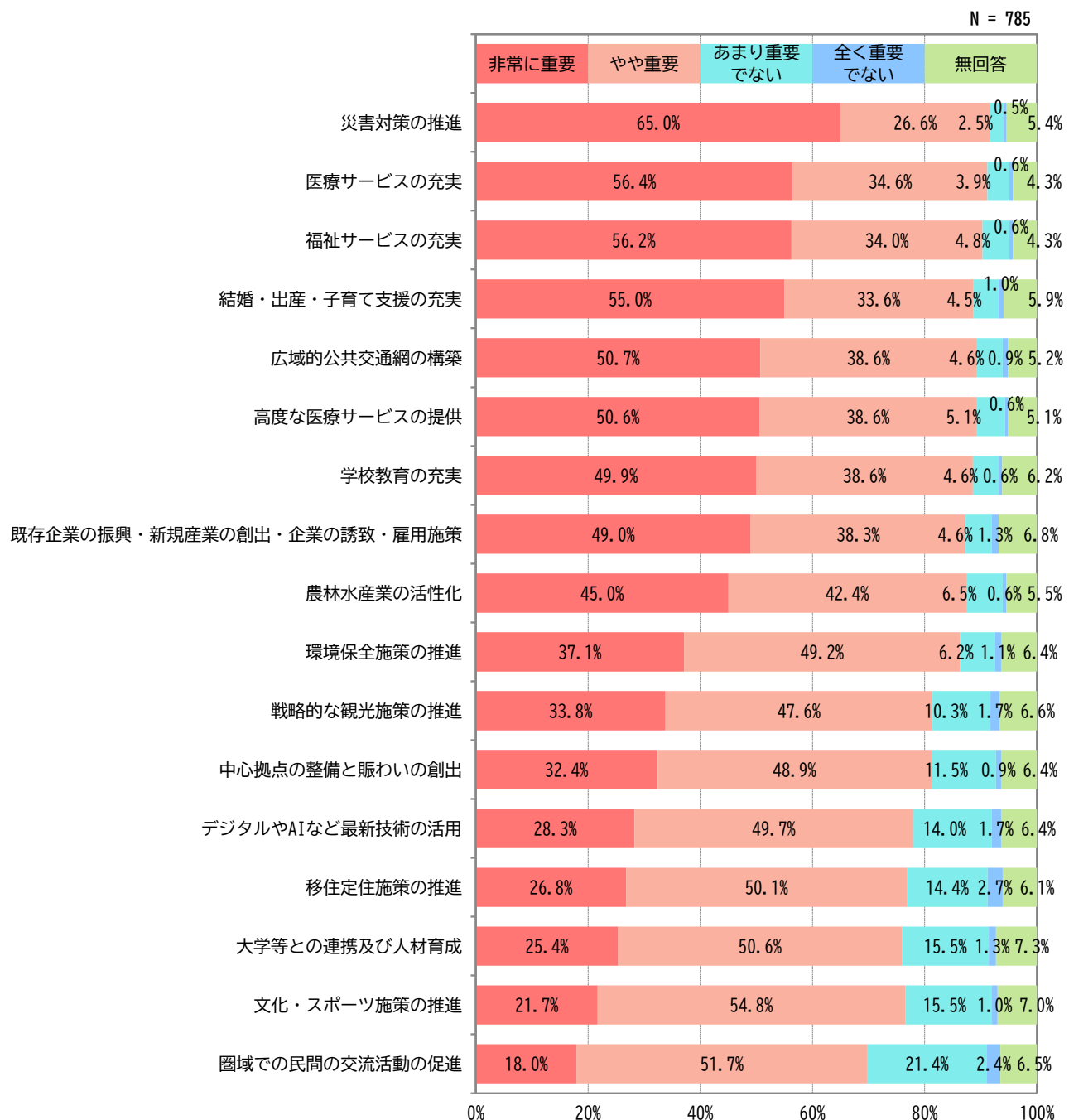
- 圏域内での取組に対する満足度は、「医療サービスの充実」が最多で57.8%（「非常に満足」、「やや満足」の合計値、以下同じ）、次いで「高度な医療サービスの提供」が53.2%、「学校教育の充実」が51.0%となっています。
- 一方で、最も満足度が低い取組は、「広域的公共交通網の構築」で、67.9%（「あまり満足していない」、「全く満足していない」の合計値）が満足していません。



※満足度（「非常に満足」、「やや満足」の合計値）を降順に並び替え

問16 今後、「松山圏域」（松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町を含む地域全体）で、どのような取組の充実が重要と思われますか。項目ごとにお答えください。（項目ごとにあてはまるものに1つずつ）

- 圏域内で充実させることが重要な取組は、「災害対策の推進」が最多で65.0%（「非常に重要」と回答した割合、以下同じ）、次いで「医療サービスの充実」が56.4%、「福祉サービスの充実」が56.2%となっています。

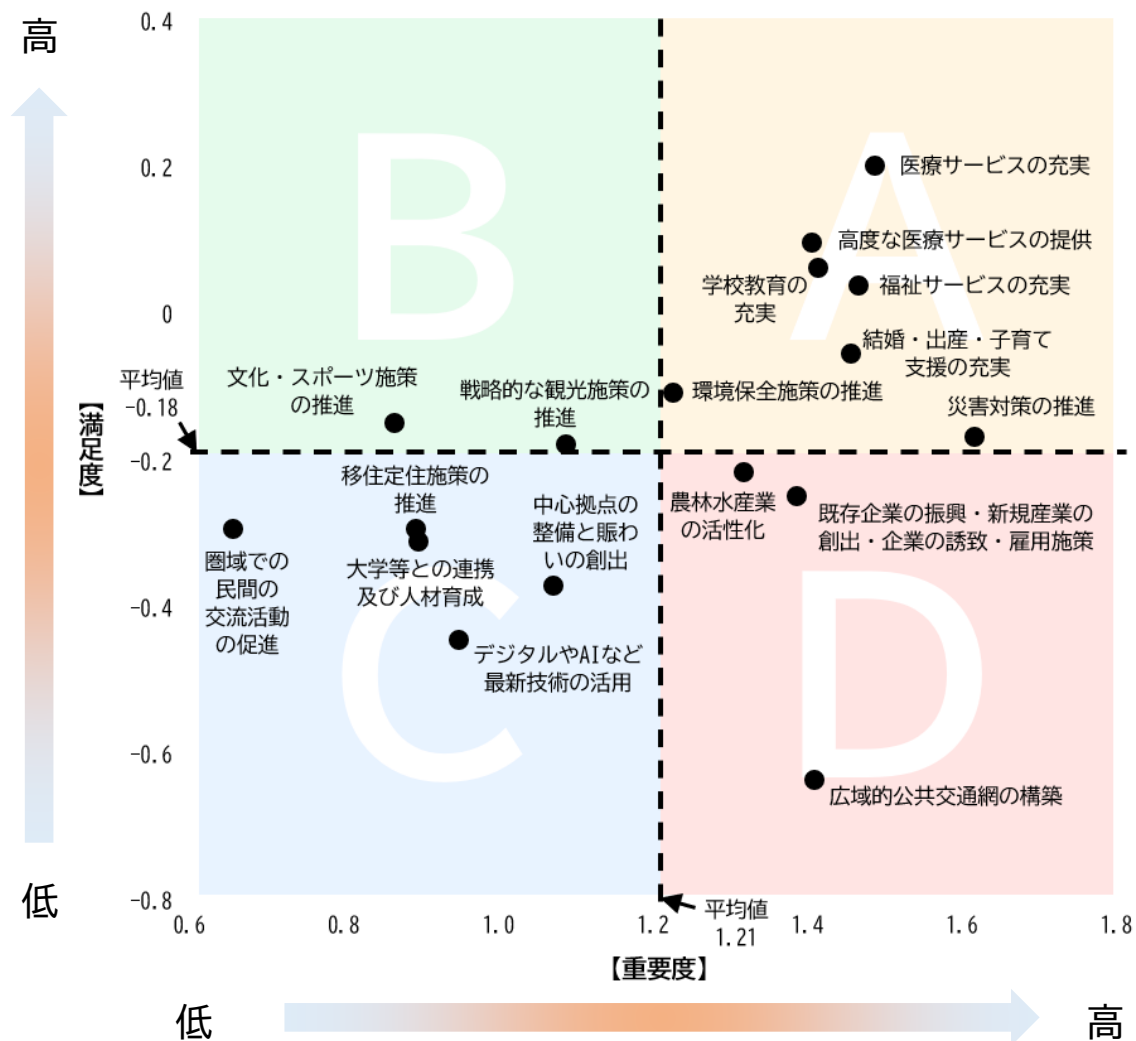


※重要度（「非常に重要」）を降順に並び替え

【クロス集計（満足度×重要度）】

下記のグラフは、満足度・重要度の平均値を算出\*し、次のように分類しています。

- A：満足度・重要度が相対的に高い取組
- B：満足度が相対的に高く、重要度が相対的に低い取組
- C：満足度・重要度が相対的に低い取組
- D：満足度が相対的に低く、重要度が相対的に高い取組



- Dに属する「広域的公共交通網の構築」「既存企業の振興・新規産業の創出・企業の誘致・雇用施策」及び「農林水産業の活性化」に取り組むことを求めています。

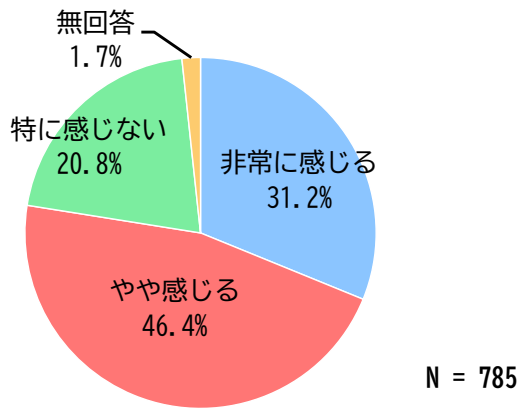
\*満足度・重要度の平均値は加重平均により算出しています。次の表の数値を各選択肢の回答数に乘じ、回答数で除した値を各取組の評価点とし、各取組の評価点を合計し、取組数で除した値を満足度・重要度の平均値としています。

非常に満足 非常に重要	やや満足 やや重要	あまり満足していない あまり重要でない	全く満足していない 全く重要でない
+2	+1	-1	-2

#### ④居住地への親近感

問17 「現在（令和7年7月1日時点）」あなたがお住まいの市町に対して、あなたは親近感を感じますか。最も近いものをお答えください。（○は1つ）

- 居住地への親近感は、「やや感じる」が最多で46.4%、次いで、「非常に感じる」が31.2%、「特に感じない」が20.8%となっており、約8割の人が親近感を感じている（「非常に感じる」、「やや感じる」の合計値）と回答しています。



#### 【クロス集計（居住地別）】

- 居住地別にみると、いずれの市町でも「やや感じる」が最多となっています。「非常に感じる」の割合をみると、東温市、久万高原町、松前町、松山市、砥部町の順に高く、伊予市が最も低くなっています。また、「非常に感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、久万高原町が最も高く83.8%となっています。

SA	上段:度数 下段:%	居住地						合計
		松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町	
居住地への親近感	非常に感じる	63 30.0	27 27.3	44 34.4	38 34.2	40 33.9	33 28.4	245 31.3
	やや感じる	97 46.2	47 47.5	56 43.8	55 49.5	55 46.6	52 44.8	362 46.3
	特に感じない	47 22.4	22 22.2	26 20.3	18 16.2	22 18.6	28 24.1	163 20.8
	無回答	3 1.4	3 3.0	2 1.6	- -	1 0.8	3 2.6	12 1.5
	全体	210 100.0	99 100.0	128 100.0	111 100.0	118 100.0	116 100.0	782 100.0
	非常に感じる +やや感じる	160 76.2	74 74.7	100 78.1	93 83.8	95 80.5	85 73.3	607 77.6

#### 【クロス集計（通勤・通学先別）】

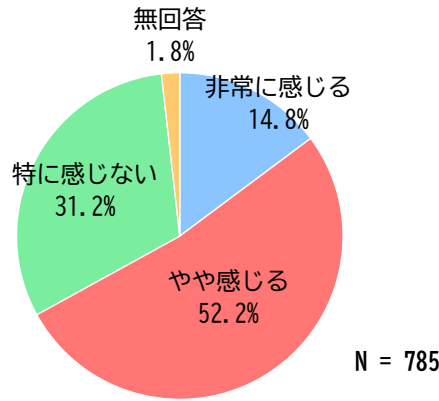
- 通勤・通学先別にみると、松前町に通勤・通学している人は、「非常に感じる」が、その他の地域では「やや感じる」が最多となっています。

SA	上段:度数 下段:%	通勤・通学先									
		松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町	その他の愛媛県内	愛媛県以外の四国	四国以外の国内	合計
居住地への親近感	非常に感じる	77 29.6	20 30.8	22 31.4	29 33.7	16 45.7	5 15.2	6 31.6	-	4 36.4	179 30.7
	やや感じる	128 49.2	26 40.0	30 42.9	39 45.3	12 34.3	19 57.6	9 47.4	3 75.0	6 54.5	272 46.7
	特に感じない	52 20.0	16 24.6	18 25.7	18 20.9	6 17.1	9 27.3	4 21.1	1 25.0	1 9.1	125 21.4
	無回答	3 1.2	3 4.6	-	-	1 2.9	-	-	-	-	7 1.2
	全体	260 100.0	65 100.0	70 100.0	86 100.0	35 100.0	33 100.0	19 100.0	4 100.0	11 100.0	583 100.0
	非常に感じる +やや感じる	205 78.8	46 70.8	52 74.3	68 79.1	28 80.0	24 72.7	15 78.9	3 75.0	10 90.9	451 77.4

⑤松山圏域内の他のまちへの親近感

問18 松山圏域内の他の市町について、あなたは親近感を感じますか。最も近いものをお答えください。  
(○は1つ)

- 圏域内の居住地以外の市町への親近感は、「やや感じる」が最多で52.2%、次いで、「特に感じない」が31.2%、「非常に感じる」が14.8%となっており、約7割の人が親近感を感じる（「非常に感じる」、「やや感じる」の合計値）と回答している一方で、約3割の回答者が他市町への親近感を感じていません。



【クロス集計（居住地別）】

- 居住地別にみると、いずれの市町でも「やや感じる」が最多となっています。「非常に感じる」の割合をみると、砥部町、松前町、東温市、久万高原町、松山市の順に高く、伊予市が最も低くなっています。また、「非常に感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、久万高原町が最も高く76.6%となっています。

SA	上段:度数 下段:%	居住地						
		松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町	合計
他市町への親近感	非常に感じる	23 11.0	9 9.1	22 17.2	17 15.3	22 18.6	23 19.8	116 14.8
	やや感じる	103 49.0	57 57.6	69 53.9	68 61.3	59 50.0	52 44.8	408 52.2
	特に感じない	80 38.1	28 28.3	35 27.3	25 22.5	36 30.5	41 35.3	245 31.3
	無回答	4 1.9	5 5.1	2 1.6	1 0.9	1 0.8	-	13 1.7
	全体	210 100.0	99 100.0	128 100.0	111 100.0	118 100.0	116 100.0	782 100.0
	非常に感じる +やや感じる	126 60.0	66 66.7	91 71.1	85 76.6	81 68.6	75 64.7	524 67.0

【クロス集計（通勤・通学先別）】

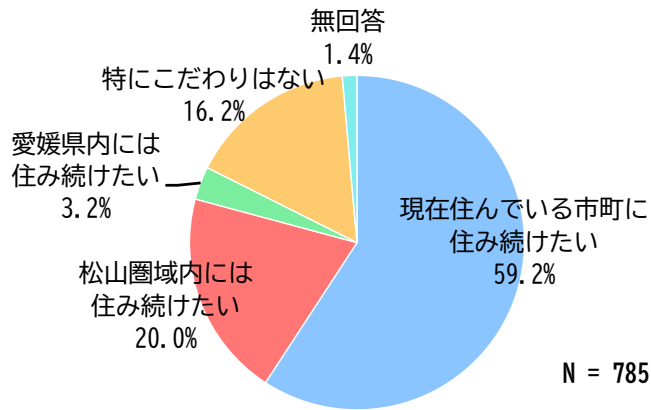
- 通勤・通学先別にみると、いずれの市町でも「やや感じる」（その他の愛媛県内では「特に感じない」も最多）が最多となっています。

SA	上段:度数 下段:%	通勤・通学先									
		松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町	その他の愛媛県内	愛媛県以外の四国	四国以外の国内	合計
他市町への親近感	非常に感じる	37 14.2	8 12.3	11 15.7	13 15.1	12 34.3	5 15.2	3 15.8	-	2 18.2	91 15.6
	やや感じる	129 49.6	37 56.9	35 50.0	51 59.3	13 37.1	19 57.6	8 42.1	4 100.0	5 45.5	301 51.6
	特に感じない	91 35.0	17 26.2	24 34.3	21 24.4	10 28.6	9 27.3	8 42.1	-	4 36.4	184 31.6
	無回答	3 1.2	3 4.6	-	1 1.2	-	-	-	-	-	7 1.2
	全体	260 100.0	65 100.0	70 100.0	86 100.0	35 100.0	33 100.0	19 100.0	4 100.0	11 100.0	583 100.0
	非常に感じる +やや感じる	166 63.8	45 69.2	46 65.7	64 74.4	25 71.4	24 72.7	11 57.9	4 100.0	7 63.6	392 67.2

⑥圏域内での定住意向

問19 あなたは、今後も「松山圏域」（松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町を含む地域全体）に住み続けたいとお考えですか。あてはまるものをお答えください。（○は1つ）

- 圏域内での定住意向は、「現在住んでいる市町に住み続けたい」が最多で 59.2%、次いで「松山圏域内には住み続けたい」が 20.0%、「特にこだわりがない」が 16.2%で、約8割の人が、「松山圏域」内に住み続けたいと回答しています。



【クロス集計（居住地別）】

- 居住地別にみると、いずれの市町でも「現在住んでいる市町に住み続けたい」が最多となっていますが、その割合は、伊予市、東温市、松山市、久万高原町、松前町の順に高く、砥部町が最も低くなっています。
- 自市町を含めて圏域内に住み続けたい人は、いずれの市町も約7～8割で、松前町が最も高く82.9%となっています。

SA	上段:度数 下段:%	居住地						合計
		松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町	
圏域内での 居住意向	現在住んでいる市町に住み続けたい	126 60.0	61 61.6	77 60.2	65 58.6	68 57.6	66 56.9	463 59.2
	松山圏域内には住み続けたい	36 17.1	21 21.2	26 20.3	27 24.3	25 21.2	22 19.0	157 20.1
	愛媛県内には住み続けたい	9 4.3	-	6 4.7	1 0.9	3 2.5	6 5.2	25 3.2
	特にこだわりはない	33 15.7	15 15.2	18 14.1	17 15.3	22 18.6	22 19.0	127 16.2
	無回答	6 2.9	2 2.0	1 0.8	1 0.9	-	-	10 1.3
	全体	210 100.0	99 100.0	128 100.0	111 100.0	118 100.0	116 100.0	782 100.0
	松山圏域内に住み続けたい（自市町含む）	162 77.1	82 82.8	103 80.5	92 82.9	93 78.8	88 75.9	620 79.3

※「松山圏域内に住み続けたい（自市町含む）」は、「現在住んでいる市町に住み続けたい」、「松山圏域内には住み続けたい」の合計

【クロス集計（年代別）】

- 年代別にみると、20代以上では「現在住んでいる市町に住み続けたい」が最多となっていますが、10代では「特にこだわりはない」が53.8%で最多となっています。
- 次いで多い回答は、30代以上では「松山圏域内には住み続けたい」ですが、20代では「特にこだわりがない」となっています。
- 現在住んでいる市町に住み続けたい人の割合は、10代から70代にかけて上昇傾向にあります。
- 自市町を含めて圏域内に住み続けたい人の割合は、10代で最も低く38.5%、次いで20代で67.8%となっています。

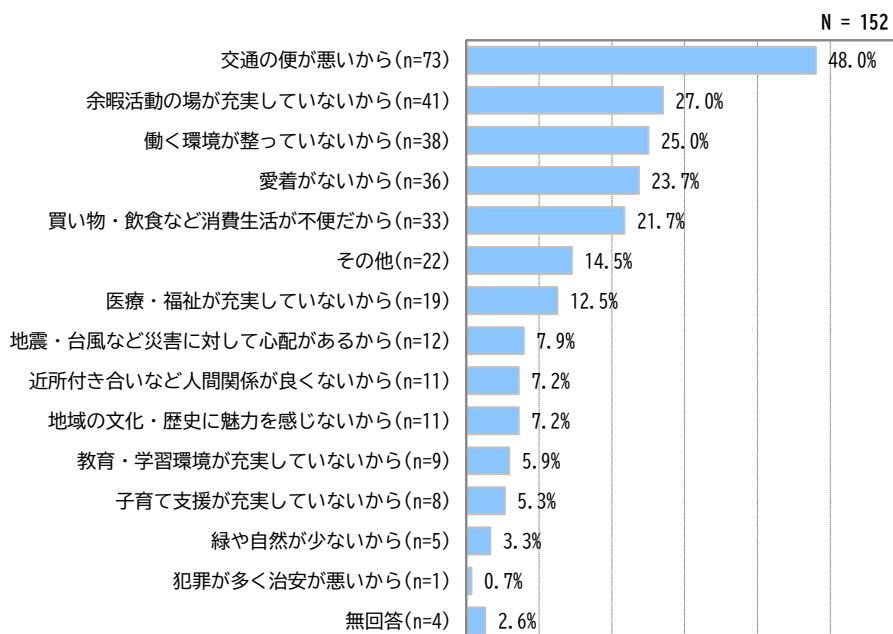
SA	上段:度数 下段:%	年齢							合計
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	
圏域内での 居住意向	現在住んでいる市町に住み続けたい	3 23.1	41 44.1	52 55.9	77 61.1	88 54.3	97 65.1	105 77.2	463 60.0
	松山圏域内には住み続けたい	2 15.4	22 23.7	22 23.7	29 23.0	37 22.8	28 18.8	17 12.5	157 20.3
	愛媛県内には住み続けたい	1 7.7	6 6.5	3 3.2	2 1.6	6 3.7	5 3.4	2 1.5	25 3.2
	特にこだわりはない	7 53.8	24 25.8	16 17.2	18 14.3	31 19.1	19 12.8	12 8.8	127 16.5
	全体	13 100.0	93 100.0	93 100.0	126 100.0	162 100.0	149 100.0	136 100.0	772 100.0
	松山圏域内に住み続けたい（自市町含む）	5 38.5	63 67.8	74 79.6	106 84.1	125 77.1	125 83.9	122 89.7	620 80.3

※「松山圏域内に住み続けたい（自市町含む）」は、「現在住んでいる市町に住み続けたい」、「松山圏域内には住み続けたい」の合計

問20 問19で「3」「4」のいずれかを回答された方におたずねします。

「松山圏域」（松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町を含む地域全体）内に住み続けたいと思わない理由を教えてください。（〇は3つまで）

- 圏域内に住み続けたいと思わない理由は、「交通の便が悪いから」が最多で48.0%、次いで、「余暇活動の場が充実していないから」が27.0%、「働く環境が整っていないから」が25.0%となっています。



※降順に並び替え

問21 「松山圏域」(松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町を含む地域全体)での取組について、ご意見やご提案をご自由にお書きください。

- 圏域の取組に関する自由記述回答を自然言語解析により整理し、8つのトピックに分類して要点を取りまとめました。

	トピック	代表的な回答(要約)
1	地域活性化・移住者支援・担い手育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移住支援は就農の意思・継続性をしっかり確認し、地域の後継者育成にも資する制度にすべき。</li> <li>・ 交通インフラ整備と企業・商業誘致を総合的に進め、生活利便と所得向上を加速させるべき。</li> <li>・ アーケード街や駅周辺を賑わいある街に再生すべき。</li> <li>・ ベッドタウンとして住みやすい一方、誘客の魅力が不足しているため、商業機能を強化する必要がある。</li> </ul>
2	公共交通・高齢者の移動・免許返納後の暮らし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者向け運賃の見直しを進める必要がある。</li> <li>・ 松前町と松山市内の病院・買物アクセスを改善すべき。</li> <li>・ 免許返納後の生活に不安があるため、備えを整えることが不可欠。</li> <li>・ 車がなくても暮らせる地域設計を検討すべき。</li> <li>・ コミュニティバスを町内だけでなく市内横断的に利用できるようにすべき。</li> <li>・ バス運賃が高いため、外出しやすい料金に見直す必要がある。</li> </ul>
3	過疎化対策・空き家・生活基盤格差	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中山間地域の移住促進とともに、スーパー誘致や上水整備を進めるべき。</li> <li>・ 空き家対策を強化し、若者の定着につなげるべき。</li> <li>・ サービスの“使い手側格差”(高齢者等)を埋め、安心・安全に使える仕組みを整えることが不可欠。</li> </ul>
4	都市計画・駅周辺再開発・道路安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国道以外にも郊外へ抜ける片側2車線の整備を進めるべき。</li> <li>・ 自転車走行空間を確保し、接触事故リスクを下げるべき。</li> <li>・ JR松山駅・観光港周辺の活性化を早期に進める必要がある。</li> <li>・ 慢性的な渋滞と対外アクセスを改善することが不可欠。</li> <li>・ 再開発の方針と進捗を明確にし、防災施策の実効性を高めるべき。</li> <li>・ 城山公園の拠点機能(休憩・飲食・観光案内)と駅周辺の滞在施設を充実させるべき。</li> </ul>
5	子育て支援・教育環境・遊び場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大規模商業・スポーツ施設や子どもの遊び場を増やし、若い世代が暮らしやすい環境にすべき。</li> <li>・ ハラスメント防止を含む学校現場の質向上を進めるべき。</li> <li>・ 照明・図書館時間・見回りなど、生活の安全・利便を整えるべき。</li> <li>・ 県全体での子育て政策と教育環境の底上げを進める必要がある。</li> <li>・ 発達支援・特別支援教育の地域差を縮小するため、人事交流等の仕組みを整えることが不可欠。</li> <li>・ 安全に遊べる場所を増やすべき。</li> <li>・ 若い世代が安心して子どもを育てられる地域になることを期待する。</li> </ul>
6	地域の魅力・観光・文化芸術・若者定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海を活かした施設・カフェ等を整備し、地域の魅力を高めるべき。</li> <li>・ Uターン就職を促すため、県内企業の魅力・情報を都市部の学生に積極的に発信すべき。</li> <li>・ 大街道・銀天街の空洞化を抑え、家族で楽しめる場を増やすべき。</li> <li>・ 若者流出の主因(仕事・給与)に対応する施策を強化する必要がある。</li> <li>・ 交流人口を高める施策を展開すべき。</li> <li>・ 都市規模に見合う観光コンテンツを増やすことを期待する。</li> </ul>
7	圏域間交流・イベント・防災連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的な交流イベント・特産品販売を計画的に増やすべき。</li> <li>・ 砥部町の道の駅機能(RVパークやドッグラン等)を強化すべき。</li> <li>・ 南海トラフ等の災害に備え、物資の相互融通などの枠組みを整備すべき。</li> <li>・ 過疎地域ではイベントが過多・乱立気味のため、ターゲット絞り込みを検討してはどうか。</li> <li>・ 地域の祭り・花火など継続価値の高い行事を維持・発展させるべき。</li> </ul>
8	行政の連携・情報発信・重点化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 圏域の取組を分かりやすく発信すべき。</li> <li>・ 共通価値観に基づく補完的な連携を進めるべき。</li> <li>・ 取り組みを絞って連携を図るべき。</li> <li>・ 計画の実効性を高め、地産地消・災害後の段階的整備など戦略を再設計することが必要。</li> <li>・ 過疎地の学校維持と通学手段(スクールバス等)の組合せを検討することを期待する。</li> <li>・ 予算の有効活用で将来への負担を残さない運用にすべき。</li> <li>・ 圏域市町の協力不足・縦割りを是正し、住民目線の対応を強化すべき。</li> </ul>



## 第3編 まとめと考察

### 1. 回答者の属性

- ・ 女性がやや多く回答。
- ・ 年齢は50代、60代、70代の順で多く回答。WEB回答は10～50代が多く利用。
- ・ 家族構成は、二世帯世帯（親と子）や夫婦のみの世帯が多い。
- ・ 居住地域は、松山市が最も多いが、他市町はほぼ同じ割合（※回収率で見ると、伊予市が約3割、その他の市町が約4割）。
- ・ 居住年数は、5割以上が現在の居住地に20年以上在住。

- 全体の回答率は39.3%であり、配布数に対する回収率で見ると、各地域ともに3～4割程度の回答を得ることができました。
- 郵送と比較しWEBでの回答は少なかったですが、若年層からの意見を吸い上げる手法として有効といえるため、今後も郵送と併用していきたいと考えています。
- 若年層等、回答が少ない層にも参加しやすい方策をWEBでの回答以外にも今後検討していきます。

### 2. 住んだことがある地域

- ・ 6割以上が松山市に住んだことがあるが、圏域外（県内・四国外）からの転入者も多い。  
※圏域外からの転入者は、年齢別では40～50代、居住地域別では東温市、松山市で多くみられる。  
※居住地別では、現在の居住地と松山市を挙げる人が多い。

- 松山市、東温市では、圏域外からの転入者が多いことがうかがえます。
- 圏域外からの転入者数は、上記2市とその他の市町で大きく異なることから、伊予市、久万高原町、松前町、砥部町においても、転入者を呼び込む取組に注力することが重要です。

### 3. 日常生活について

#### ○通勤・通学

- ・ 職業は、正規の社員・職員とパート・アルバイトが多い。
- ・ 約5割が松山市に職場や学校があるが、居住地別にみると、住んでいるまちに職場・学校がある人も多い。
- ・ 通勤・通学の際の交通手段としては、6割以上が自家用車を利用している。  
※松山市は、34.6%が徒歩・自転車、バイクで通勤・通学しており、職場や学校が近い人が多いことが考えられる。

- 住んでいる地域内での自動車を利用した通勤・通学者が多く、自動車社会であることがうかがえます。
- 松山市と松前町については、徒歩・自転車、バイクでの通勤・通学者も多く、自宅と職場・学校が近いことがうかがえます。

#### ○活動

- ・ すべての活動で、松山市が最も多く挙げられている。
- ・ 居住地別にみると、日用品などの買い物やかかりつけ医の受診、図書館の利用など、日常生活の中での行動は、住んでいる地域内で完結するも、外食、高度医療の受診、展示施設の見学、スポーツ観戦

などの活動は、概ね松山市に依存している。

- ・ 日用品以外の買い物で松前町、アウトドア・レジャーでその他の愛媛県内も集客力が高い（各地域で3番目までに挙げられる）。
- ・ 9割以上が食品・日用品の買い物の利便性が高いと感じている一方で、5割近くがコンサート・演劇鑑賞の利便性が低いと感じている。

- 一部の活動（日常生活の中での行動を除く）で、圏域内での松山市の中心性が示唆されました。
- 松山市以外にも、他地域からの集客力のある松前町（日用品以外の買い物）などの強みを生かしていくことが重要です。
- アウトドア・レジャーは、一部圏域外（県内）への依存がみられ、圏域内での強化が求められます。
- コンサート・演劇鑑賞等の利便性の向上が期待されています。

## 4. 「松山圏域」について

### ○自慢できる特徴

- ・ 4割以上が「道後温泉」「松山城」と回答している。  
※砥部焼、正岡子規、愛媛県立とベ動物園なども多くの人に挙げられる。  
※その他、海と山など自然が豊かなこと、砥部焼、果物、海産物などの豊富な特産品、各地で今も引き継がれる様々な祭り、正岡子規や夏目漱石など圏域ゆかりの偉人を輩出していること、愛媛県立とベ動物園や大型複合施設エミフル MASAKI など多様な拠点施設などが特徴として挙げられる。

- 道後温泉と松山城の2大観光拠点を中心に、他地域でも挙げられた特徴を整理し、パッケージ化してブランド化していくなど、圏域として戦略的なPR戦略を検討していくことが望まれます。

### ○松山圏域に望む姿

- ・ 安心・安全に暮らせる圏域が多くの回答者に望まれている。その他、自然環境に恵まれ、高齢者が暮らしやすい、医療施設が充実していることも求められている。  
※その他、10～20代ではお洒落で都会的なものが多いこと、10～40代では子育てしやすさ、30～60代では働く場所や機会の充実を求める声も多く聞かれる。

- 世代ごと（ライフステージごと）に異なる望む姿があるため、それぞれの世代のニーズも考慮しながら、圏域全体の望ましい姿を検討していくことが重要です。

### ○圏域内での取組

- ・ 医療サービスに対する満足度が高く、広域的公共交通網に対する満足度が低い。
- ・ 6割以上が災害対策の推進が非常に重要であると考えている。

- 満足度と重要度の総合評価では、重要度が高いのに満足度が低かった「広域的公共交通網の構築」「既存企業の振興・新規産業の創出・企業の誘致・雇用施策」及び「農林水産業の活性化」に関する取組を進めていくことが求められます。

### ○居住地や圏域への親近感

- ・ 居住地への親近感は約8割が、圏域内の他の市町への親近感も約7割が感じている。
- ・ 約8割が松山圏域に住み続けたいと考えている一方で、2割近くがこだわりのないと回答。
- ・ 圏域内に住み続けたいと思わない理由は、交通の便が悪いことが最多。

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>○ 居住地や圏域の他のまちに親近感を感じている人は多く、定住意向も高いことから、「わがまち」としての意識も高いと考えられ、圏域内の取組についても多くの住民の方が参加できるものを検討していくことが重要です。</li><li>○ 圏域内に住み続けたいと思わない理由として、交通の便が悪いことが最多であることから、定住</li><li>○ 促進に向けた交通の利便性の向上が重要です。</li></ul> |
|--|

## 松山圏域の生活環境等に関するアンケート ご協力をお願い

松山圏域連携協議会(松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町)では、各市町の強みや特色を生かした魅力ある圏域を形成し、持続可能な地域社会を構築するため、圏域の長期計画「第2期まつやま圏域未来創生ビジョン」(令和3～7年度)を策定し、様々な取組を進めてきました。今後も取組を続けていくため、第3期のビジョンを策定します。

第3期のビジョンの策定にあたり、圏域内の18歳から79歳までの住民の方 2,000 人を対象に、日常生活の行動範囲や圏域のイメージ等についてお尋ねするアンケートを実施することとなりました。

本調査は無記名の調査であり、個人が特定されることはありません。また、お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理し、計画の策定以外の目的には一切使用いたしません。

ぜひ、最後までご回答くださいますよう重ねてお願い申し上げます。

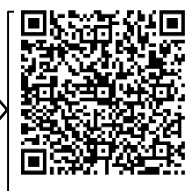
令和7年7月 松山圏域連携協議会

### — 回答方法 —

以下、いずれかの方法によりご回答ください。

#### 1. Web による回答

二次元コードにアクセスいただき、ご回答ください。➡



#### 2. 本調査票による回答

同封の返信用封筒(切手は不要)で、回答期限までに郵便ポストに投函してください。  
住所・名前の記載は不要です。



〈回答期限〉 8月6日(水)

〈ご回答に当たってのお願い〉

- 1 アンケートは、必ず宛名にあるご本人がご回答ください。
- 2 各項目について、感じたままをお答えください。
- 3 回答項目のうち、当てはまると思うものの番号に○を付けてください。
- 4 ○の数は、(○は1つ)(○は3つまで)といった( )内の指定に合わせて付けてください。
- 5 「その他」に当てはまる場合は、( )内にその内容を具体的にお書きください。



この調査票についてご不明な点がある場合は、次の問合せ先までお願いいたします。

問合せ先 松山圏域連携協議会事務局(松山市 総合政策部 企画戦略課)

電話:089-948-6341

Eメール:renkei@city.matsuyama.ehime.jp



松山圏域とは

松山市と近隣5市町(伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町)で構成する圏域です。

問1 あなたの性別は。(選択は任意です)

1. 男性	2. 女性	3. 回答しない
-------	-------	----------

問2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代
5. 50代	6. 60代	7. 70代	

問3 あなたの家族構成をお答えください。(○は1つ)

あてはまるものがない場合は、最も近いものを選択してください。

1. 単身世帯(ひとり暮らし)	2. 夫婦のみ
3. 二世帯世帯(親と子)	4. 三世帯世帯(親と子と孫)
5. その他( )	

問4 「現在(令和7年7月1日時点)」あなたがお住まいの市町をお答えください。(○は1つ)

1. 松山市	2. 伊予市	3. 東温市
4. 久万高原町	5. 松前町	6. 砥部町

問5 現在お住まいの市町の居住年数をお答えください。(○は1つ)

1. 5年未満	2. 5~10年未満	3. 10~20年未満	4. 20年以上
---------	------------	-------------	----------

問6 現在お住まいの地域を含めて、「これまでにあなたが住んだことがある」地域をお答えください。  
(当てはまるものすべてに○)

1. 松山市	2. 伊予市	3. 東温市
4. 久万高原町	5. 松前町	6. 砥部町
7. その他の愛媛県内	8. 愛媛県以外の四国	9. 四国以外の国内
10. 海外		

問7 あなたの職業をお答えください。(○は1つ)

あてはまるものがない場合は、最も近いものを選択してください。

1. 正規の社員・職員	2. パート・アルバイト	3. 契約・派遣社員
4. 自営業主・家族従業者	5. 学生	
6. 無職(求職中を含む)	7. 家事専業	8. 定年退職者

問8へ

問10へ

問8 問7で「1」~「5」のいずれかと回答された方におたずねします。

「現在(令和7年7月1日時点)」あなたの職場や学校がある地域をお答えください。(○は1つ)

1. 松山市	2. 伊予市	3. 東温市
4. 久万高原町	5. 松前町	6. 砥部町
7. その他の愛媛県内	8. 愛媛県以外の四国	9. 四国以外の国内

問9 問7で「1」～「5」のいずれかと回答された方におたずねします。

あなたが通勤・通学する際に利用している主な交通手段をお答えください。(○は1つ)

1. 徒歩・自転車	2. バイク	3. 電車・バス
4. 自家用車	5. 船(フェリーなど)	6. 通勤なし(自宅が職場等)

問10 日常生活における以下の活動について、その活動のために比較的好く行く地域を3つまでお答えください。(項目ごとにあてはまるものに3つまで○)

	活動のために比較的好く行く地域							
	松山圏域						圏域外	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町	その他愛媛県内	愛媛県外
【記入例】 買い物(食品・日用品)	①	2	3	4	⑤	6	⑦	8
買い物(食品・日用品)	1	2	3	4	5	6	7	8
買い物(食品・日用品以外)	1	2	3	4	5	6	7	8
外食	1	2	3	4	5	6	7	8
医療機関の受診(かかりつけ医)	1	2	3	4	5	6	7	8
医療機関の受診 (かかりつけ医で対応できない場合)	1	2	3	4	5	6	7	8
介護施設の利用(特別養護老人ホーム、 デイサービス、ヘルパー等)	1	2	3	4	5	6	7	8
図書館の利用	1	2	3	4	5	6	7	8
美術館・博物館など展示施設の見学	1	2	3	4	5	6	7	8
コンサート・演劇鑑賞	1	2	3	4	5	6	7	8
趣味の文化・芸術活動(ご自身が参加するもの)	1	2	3	4	5	6	7	8
スポーツ観戦	1	2	3	4	5	6	7	8
趣味のスポーツ活動(ご自身が参加するもの)	1	2	3	4	5	6	7	8
大きな公園での遊び・散策等	1	2	3	4	5	6	7	8
お住まいの市町以外の地域で開催されるイベントへの参加	1	2	3	4	5	6	7	8
アウトドア・レジャー	1	2	3	4	5	6	7	8

問11 「松山圏域」(松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町を含む地域全体)で、日常生活における以下の活動について、利便性が高いと感じる活動をお答えください。(〇は5つまで)

1. 買い物(食品・日用品)	2. 買い物(食品・日用品以外)
3. 外食	4. 医療機関の受診(かかりつけ医)
5. 医療機関の受診 (かかりつけ医で対応できない場合)	6. 介護施設の利用(特別養護老人ホーム、 デイサービス、ヘルパー等)
7. 図書館の利用	8. 美術館・博物館など展示施設の見学
9. コンサート・演劇鑑賞	10. 趣味の文化・芸術活動(ご自身が参加するもの)
11. スポーツ観戦	12. 趣味のスポーツ活動(ご自身が参加するもの)
13. 大きな公園での遊び・散策等	14. お住まいの市町以外の地域で開催されるイベントへの参加
15. アウトドア・レジャー	16. その他( )

問12 「松山圏域」(松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町を含む地域全体)で、日常生活における以下の活動について、利便性が低いと感じる活動をお答えください。(〇は5つまで)

1. 買い物(食品・日用品)	2. 買い物(食品・日用品以外)
3. 外食	4. 医療機関の受診(かかりつけ医)
5. 医療機関の受診 (かかりつけ医で対応できない場合)	6. 介護施設の利用(特別養護老人ホーム、 デイサービス、ヘルパー等)
7. 図書館の利用	8. 美術館・博物館など展示施設の見学
9. コンサート・演劇鑑賞	10. 趣味の文化・芸術活動(ご自身が参加するもの)
11. スポーツ観戦	12. 趣味のスポーツ活動(ご自身が参加するもの)
13. 大きな公園での遊び・散策等	14. お住まいの市町以外の地域で開催されるイベントへの参加
15. アウトドア・レジャー	16. その他( )

問13 「松山圏域」(松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町を含む地域全体)で、圏域外に自慢できるような特徴(名勝旧跡、施設、イベント・祭り、名物・特産品、自然・地勢・風土、偉人・有名人など)について、あなたが思いつくものを最大5つまでご記入ください。


問14 あなたは「松山圏域」(松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町を含む地域全体)が将来どのような地域になってほしいとお考えですか。あてはまるものをお答えください。(〇は5つまで)

<p>1. 自然環境に恵まれている</p> <p>3. 歴史・文化が豊か</p> <p>5. 高齢者が暮らしやすい</p> <p>7. 学校教育が充実している</p> <p>9. 商業施設が充実している</p> <p>11. 農林水産業が盛ん</p> <p>13. 特産品が豊富</p> <p>15. スポーツが盛ん</p> <p>17. 働く場所や機会が充実している</p>	<p>2. お洒落で都会的なものが多い</p> <p>4. 医療施設が充実している</p> <p>6. 子育てがしやすい</p> <p>8. 安心・安全に暮らせる</p> <p>10. 工業が盛ん</p> <p>12. 観光資源が豊富</p> <p>14. お祭りやイベントが盛ん</p> <p>16. 文化・芸術活動が盛ん</p> <p>18. その他 ( )</p>
--	---

問15 現在、「松山圏域」（松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町を含む地域全体）で、行われている取組に対する満足度を教えてください。項目ごとにお答えください。（項目ごとにあてはまるものに1ずつ○）

項目	満足度			
	1	2	3	4
	非常に満足	やや満足	あまり満足していない	全く満足していない
【記入例】 既存企業の振興・新規産業の創出・企業の誘致・雇用施策	1	②	3	4
既存企業の振興・新規産業の創出・企業の誘致・雇用施策	1	2	3	4
農林水産業の活性化	1	2	3	4
戦略的な観光施策の推進	1	2	3	4
高度な医療サービスの提供	1	2	3	4
広域的公共交通網の構築	1	2	3	4
中心拠点の整備と賑わいの創出	1	2	3	4
大学等との連携及び人材育成	1	2	3	4
医療サービスの充実	1	2	3	4
福祉サービスの充実	1	2	3	4
結婚・出産・子育て支援の充実	1	2	3	4
学校教育の充実	1	2	3	4
災害対策の推進	1	2	3	4
環境保全施策の推進	1	2	3	4
デジタルやAIなど最新技術の活用	1	2	3	4
文化・スポーツ施策の推進	1	2	3	4
移住定住施策の推進	1	2	3	4
圏域での民間の交流活動の促進	1	2	3	4

問16 今後、「松山圏域」（松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町を含む地域全体）で、どのような取組の充実が重要と思われますか。項目ごとにお答えください。  
 （項目ごとにあてはまるものに1ずつ○）

項目	重要度			
	1	2	3	4
	非常に重要	やや重要	あまり重要でない	全く重要でない
【記入例】 既存企業の振興・新規産業の創出・企業の誘致・雇用施策	①	2	3	4
既存企業の振興・新規産業の創出・企業の誘致・雇用施策	1	2	3	4
農林水産業の活性化	1	2	3	4
戦略的な観光施策の推進	1	2	3	4
高度な医療サービスの提供	1	2	3	4
広域的公共交通網の構築	1	2	3	4
中心拠点の整備と賑わいの創出	1	2	3	4
大学等との連携及び人材育成	1	2	3	4
医療サービスの充実	1	2	3	4
福祉サービスの充実	1	2	3	4
結婚・出産・子育て支援の充実	1	2	3	4
学校教育の充実	1	2	3	4
災害対策の推進	1	2	3	4
環境保全施策の推進	1	2	3	4
デジタルやAIなど最新技術の活用	1	2	3	4
文化・スポーツ施策の推進	1	2	3	4
移住定住施策の推進	1	2	3	4
圏域での民間の交流活動の促進	1	2	3	4

問17 「現在（令和7年7月1日時点）」あなたがお住まいの市町に対して、あなたは親近感を感じますか。最も近いものをお答えください。（○は1つ）

- |           |          |           |
|-----------|----------|-----------|
| 1. 非常に感じる | 2. やや感じる | 3. 特に感じない |
|-----------|----------|-----------|

問18 松山圏域内の他の市町について、あなたは親近感を感じますか。最も近いものをお答えください。（○は1つ）

- |           |          |           |
|-----------|----------|-----------|
| 1. 非常に感じる | 2. やや感じる | 3. 特に感じない |
|-----------|----------|-----------|

問19 あなたは、今後も「松山圏域」（松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町を含む地域全体）に住み続けたいとお考えですか。あてはまるものをお答えください。（○は1つ）

- |                     |                  |
|---------------------|------------------|
| 1. 現在住んでいる市町に住み続けたい | 2. 松山圏域内には住み続けたい |
| 3. 愛媛県内には住み続けたい     | 4. 特にこだわりはない     |
- 問20へ

問20 問19で「3」「4」のいずれかを回答された方におたずねします。  
「松山圏域」（松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町を含む地域全体）内に住み続けたいと思わない理由を教えてください。（○は3つまで）

1. 緑や自然が少ないから	2. 買い物・飲食など消費生活が不便だから
3. 交通の便が悪いから	4. 医療・福祉が充実していないから
5. 教育・学習環境が充実していないから	6. 地震・台風など災害に対して心配があるから
7. 犯罪が多く治安が悪いから	8. 愛着がないから
9. 働く環境が整っていないから	10. 余暇活動の場が充実していないから
11. 近所付き合いなど人間関係が良くないから	12. 地域の文化・歴史に魅力を感じないから
13. 子育て支援が充実していないから	14. その他（ ）

問21 「松山圏域」（松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町を含む地域全体）での取組について、ご意見やご提案をご自由にお書きください。


ご協力ありがとうございました。

## 松山圏域の生活環境等に関するアンケート報告書

発行 : 令和8年3月  
問い合わせ先 : 松山圏域連携協議会事務局  
(松山市 総合政策部 企画戦略課)  
〒790-8571 松山市二番町四丁目7番地2  
電話 : 089-948-6341  
Eメール:renkei@city.matsuyama.ehime.jp